

現行
縣令類編附錄

C2
1113
22-02

縣令類編附録

凡例

本書ハ前編ノ編纂脱稿後本年七月迄發付ニ係ル令達ヲ編纂シタルモノ

トス

縣令類編中教育

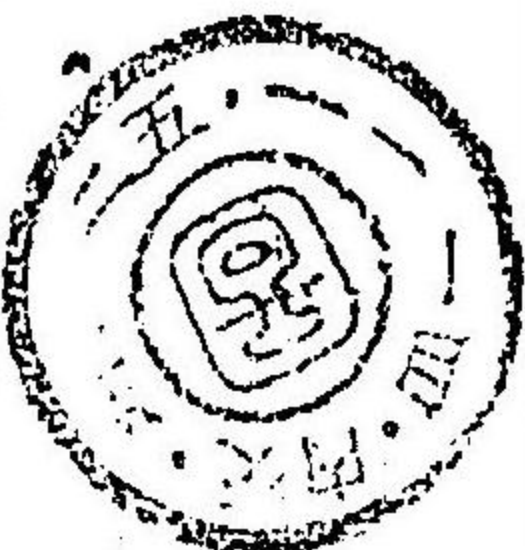
アルニ依ル

ニ關スル部分ヲ省キタルハ別ニ編纂シ配付シタルモノ

明治二十五年

十一月

山形縣



第二章	取締規則	五二
第三章	傳染病豫防	五四
第七編	戶籍	五八
第八編	兵事	六〇
第一章	徵兵	六〇
第二章	徵發	九二
第九編	社寺	一〇三
第十編	會計	一〇五
第二章	縣稅	一〇五
第十一編	警務	一二三
第一章	警察區畫	一二三
第二章	取締規則	一二七
第三章	取締規則	一三五
第十二編	租稅	一四四
第一章	地租	一四四
第二章	所得稅	一六〇
第三章	營業稅	一六一
第四章	印紙	一六三
第六章	雜件	一六五

縣令類編附錄

第一編 總務

第二章 郡制

○訓令第七十六號 明治二十五年七月十一日 郡役所

郡歳入出決算書及之ニ添付スヘキ説明書ノ式ハ明治二十四年四月内務省令第二號郡歳入出決算調製ノ式並同年(四月)本縣訓令第六十四號説明書ノ式ニ準シ調製スヘシ

第三章 市町村制

○告示第十九號 明治二十五年三月十五日

明治二十三年法律第七十七號ニ依リ北村山郡榑岡村ヲ榑岡町ト改稱ス

○告示第四十九號 明治二十五年六月十八日

今般町村制第四條ニ依リ最上郡豐里村大字庭月曲川ヲ分離シテ豐田村ヲ置キ同郡古口村大字角川ヲ分離シテ角川村ヲ置ク

○告示第五十號 明治二十五年六月二十一日

今般町村制第四條ニ依リ西置賜郡白鷹村大字十王ヲ分離シテ十王村ヲ置キ同郡豐川村大字松原ヲ分離シテ同郡添川村ヘ合併ス

○訓令第六十號 明治二十五年五月二十八日

郡役所
町村役場

郡制 市町村制

17
115

市町村制

町村事務中郡長ニ報告スヘキ事項左ノ通相定ム

汎例

- 一 各事項ハ總テ即報トス
 - 一 報告書ハ添書ヲ要セス本紙ノ末ニ年月日ヲ記入シ町村長署名調印スヘシ但同時ニ數項取纏メ報告スル場合ハ一項毎ニ記入署名ヲ要セス別ニ目錄ヲ附シ之ニ年月日ヲ記入シ署名調印スヘシ
 - 一 従前町村ヨリ郡役所ヲ經由シテ知事ニ報告シタル事項ニシテ本例ニ掲載アル事項ハ本例ニ依リ報告スヘシ
 - 一 今後新ニ發スル所ノ命令訓令中ニ報告ヲ要スル旨記載シタルトキハ本例ニ追加シタルモノト看做スヘシ
 - 一 本例ニ掲載ノ外法律命令ニ規定アルモノ並國縣郡ノ行政事務(戶籍兵事學務勸業等)ニシテ別段報告ノ規定アルモノハ其規定ニ依ルヘシ
- 町村事務報告事項
- 第一 町村會議員選舉ノ結果及其選舉錄謄本
 - 第二 町村會議員ノ退任辭職
 - 第三 町村會開閉及其議事ノ景况
 - 第四 町村會ノ決議諸件
 - 第五 町村會議決ノ執行停止及再議ニ付シタル事件

- 第六 町村會議員選舉ノ効力ニ關スル處分
- 第七 町村公民權ノ特免及町村費増課處分
- 第八 町村内ニ區ヲ設置シ區長及代理者ヲ置クコト及之ヲ廢スル事
- 第九 常設及臨時ノ委員ヲ設置シ及廢止スル事
- 第十 町村吏員ノ選舉ノ結果
- 第十一 町村長助役及收入役ノ就任及退任
- 第十二 町村助役分掌事項
- 第十三 町村會議事細則及役場内諸規定
- 第十四 町村吏員ノ身元保證金額
- 第十五 町村收入役事務引繼ノ顛末
- 第十六 町村吏員ノ懲戒處分
- 第十七 町村事務報告書及財産明細表
- 第十八 出納例月檢査及臨時檢査ノ實况
- 第十九 一時借入金及三年以内ノ公債募集
- 第二十 町村稅息納處分ニ係ル人員及金額
- 第二十一 町村ニ係ル訴訟及和解ノ事由
- 第二十二 町村長又ハ町村會ニ於テ訴願ノ裁決ヲナシタルトキハ其顛末
- 第二十三 條例並規則ヲ設ケ又ハ改正廢止シタルトキ其發行ノ年月日

市町村制

○訓令第六十一號

明治二十五年
五月二十八日

郡 役 所
町 村 役 場

町村會計帳簿編製順序別冊ノ通相定メ候條本年六月十五日ヨリ施行スヘシ
但歲入豫算簿及歲出豫算簿ハ二十五年出納開始ノ期ニ溯リ整理ス可シ
會計帳簿編製順序

一 現金受拂日計簿

第一號様式

本簿ハ町村役場ニ於テ收支スル一切ノ金錢ヲ記帳スルモノトス

一 現金内譯簿

第二號様式

本簿ハ現金受拂日計簿ノ金種ヲ細別スルモノニシテ國稅ハ項縣稅ハ款ヲ以テ口別シ町
村歲入出及一時經由金ハ別ニ内譯ヲ要セス
括弧ハ前項ノ外別ニ金種ノ區分ヲ要スルモノアルトキハ適宜之ヲ設クヘシ

一 町村歲入豫算簿

第三號様式

本簿ハ歲入ノ既未納ヲ明カニスルモノニシテ豫算ニ基キ目ヲ以テ口別スルモノトス
但決算ニ至リ總計ヲ付シ整理スヘシ歲出豫算簿亦之ニ準ス

一 町村歲出豫算簿

第四號様式

本簿ハ目ヲ以テ口別スルモノトス
豫算確定ノ後甲ノ目ヨリ乙ノ目ニ流用セシトキハ甲ハ豫算ノ欄ニ流用セシ金額ヲ朱書

シテ殘高ヨリ控除シ乙ハ豫算ノ欄ニ流用セシ金額ヲ墨書シ殘高ニ加算スルモノトス
假出ヲ要スルモノアルトキハ現金内譯簿ニ記入スルニ止メ追テ精算ノ上本簿ニ記入ス
ルモノトス

右四種ノ帳簿ハ之ヲ廢止シ又ハ様式ヲ變更スルヲ得サルモノトス

一 國稅一人別徵收元帳

一 縣稅一人別徵收元帳

一 町村稅一人別徵收元帳

右ノ徵收元帳ハ各稅目毎ニ賦課額及其納入額ヲ記入シ且各稅目毎ニ賦課ノ總計ヲ付シ

町村既未納ノ總額ヲ明瞭ナラシムヘシ

一 假出簿

本簿ハ概算支出金ヲ記入シ精算既未濟ヲ明カニスルモノニシテ歲出ノ款ヲ以テ口別ス
ルモノトス

一 一時經由金口別簿

本簿ハ官廳其他ヨリ町村人民ニ交付スヘキ金額又ハ人民ヨリ官廳其他ヘ納付スヘキ金
額ニシテ町村役場ヲ經由セシ顛末ヲ記入スルモノトシ各金種ヲ以テ口別スルモノトス
一 財產臺帳

本簿ハ町村有財產ノ種目數量ヲ記載シ處分ノ年月日及價額并賣買貸借其他増減變更ノ
沿革ヲ明カニスルモノトス

○訓令第六十二號 明治二十五年五月二十八日

市町村歳出證明規程左ノ通相定ム

市町村歳出證明規程

第一條 市町村歳出ノ仕拂證憑ハ正當受取人ノ領收證書及工學請負物件ノ購買借入等ニ關スル各種ノ契約書其他事實ノ正確ヲ證スル書類トス

第二條 證憑書類ハ正本ニ限ル若シ正本ナキトキハ當該吏員ノ保證アル謄本若クハ證明書ヲ用ユヘシ

第三條 給料旅費其他ノ諸給與及物品購買等ノ仕拂證憑ニハ算出ノ標準ヲ明記スヘシ

第四條 證憑書類ハ歳出ノ各目ニ區分編綴シ其金員及紙數ヲ記スヘシ

○訓令第六十三號 明治二十五年五月二十八日

郡市役所
町村役場

郡役所
町村役場

町村役場處務規程ハ左ノ準則ニ依リ之ヲ定メ郡長ノ許可ヲ受クヘシ

町(村)役場處務規程準則

一 役場ノ事務ハ左ノ種類ニ隨ヒ書記ヲシテ之ヲ分掌セシムルヲ要ス

庶務 議事 兵事 學務 衛生 勸業 土木 地理 收稅 會計

二 役場ニ到達スル文書ハ町(村)長之ヲ受ケ受付簿ニ其要旨ヲ登錄シ本書ニ年月日番號等

ヲ記シ捺印ノ上各主任ニ配付スヘシ(大ナル町村ニシテ事務頻繁ナル役場ニ於テハ別ニ受付主任ヲ設ルコトヲ得)

退場後若クハ休日ニ到着セシ文書ハ當宿直員ニ於テ之ヲ受ケ其至急ヲ要スルモノハ直ニ其他ハ翌日町村長ニ之ヲ差出スヘシ

三 人民ヨリ差出シクル文書ニシテ添書ヲ要スルモノ及人民へ通達スルモノ又ハ役場ニ於テ處分スル所ノ文書ハ主任ニ於テ速ニ起案ノ上回議ニ附シ即日處理スルヲ例トス若シ

事件ノ錯綜スルカ或ハ他ニ關連シテ時日ヲ要スル見込アルモノハ其事由ヲ述ヘ町村長ノ指揮ヲ受クルヲ要ス

上級廳若クハ他官衙へ送達スル文書中例規アリテ別ニ添申等ヲ要セサルモノハ主任ニ於テ發送簿ニ其件名ヲ記シ町村長ノ捺印ヲ受ケ直ニ發送ノ手續ヲナスヲ要ス

四 發送スヘキ文書ハ主任ニ於テ淨書ノ上發送ノ手續ヲナシ其指令下戻等ニ係ルモノハ受付簿ニ照合シ結了ノ印ヲ捺シ處理ノ畢ルヲ證スヘシ

郡役所直間稅分署等へ進達スル文書ハ進達目錄ヲ又人民へ送達スルモノニシテ指令鑑

市町村制

札等重要ノモノハ送達目録ヲ添ユルヲ要ス
 五町村長ハ毎土曜日ニ於テ文書處理ノ濟否ヲ調査スヘシ
 六法律命令等ノ改正加除若クハ廢止アルトキハ其源ニ溯リ記入シ現行ノ法令ヲシテ明確
 ナラシムルヲ要ス

七帳簿ハ每冊ノ首ニ於テ目次ヲ附シ搜索ニ便ナラシムルヲ要ス
 別段ノ命令ニヨリ調製スヘキ帳簿(戶籍及土地ニ關スルモノ、類)ヲ除クノ外一定ノ部
 類ヲ設ケ曆年若クハ會計年度ヲ以テ分綴スルヲ要ス
 現在ノ諸帳簿及書籍類ハ別ニ帳簿目録ヲ製シ其増減ヲ明ニスルヲ要ス

八役場執務時限左ノ如シ但繁劇若クハ定限アル事務ノ生シタル場合ハ晝夜ヲ分タス從事
 スヘシ

四月二十日ヨリ七月十日迄

午前八時ヨリ午後三時ニ至ル

七月十一日ヨリ九月十日迄

午前八時ヨリ正後十二時ニ至ル

九月十一日ヨリ四月十九日迄

午前九時ヨリ午後四時ニ至ル

九吏員出場セハ先ツ出勤簿ニ捺印シ而シテ後本務ニ從事スルヲ例トス
 疾病事故等ニテ出場スル能ハサルハ其出場時限迄ニ其事由ヲ記シ届書ヲ差出スヘシ
 退場ノトキハ各自取扱フ所ノ書類物品等ヲ取纏メ箆笥又ハ書函ニ納メテ散亂セサルヲ
 要ス

疾病ニ罹リ不參ノ者當初三日間ハ日々届出四日目に至レハ引籠届書ヲ出シ日數十五日

(不參ノ初日ヨリ起算ス)ニ至レハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出ヘシ

十用談アリテ出頭シタルモノアルトキハ速ニ其用向ヲ辨スヘシ

十一吏員退職シタルトキハ事務ヲ同僚ニ引繼キ双方連署ヲ以テ町(村)長ヘ届出ルヲ要ス
 但事務受渡ニ關シ別段ノ規定アルモノハ此限ニアラス

十二吏員出張巡回先ニ於テ命令外臨時至急ヲ要スル事件生シタルトキハ其事實ヲ通報シ
 町(村)長ノ指揮ヲ俟テ苟モ專斷ノ處置ニ涉ラサルヲ要ス

十三當宿直ハ吏員ノ内一名輪番ヲ以テ之ヲ勤ムルモノトス
 宿直ハ退場時限ヨリ昇場時限迄トス

當直ハ休暇日昇場時限ヨリ退場時限迄トス

當宿直員ハ屢々場内ヲ巡視シ火ノ元其他諸般ノ警戒ニ注意スヘシ

十四受付簿送達簿ハ別紙様式ニ依ルヲ要ス
 十五右ノ外其町村ニ於テ必要ナル事項

(別紙)

甲號受付簿

(人民ヨリ差出シタル文書ヲ登記ス)

乙號受付簿

(縣廳郡役所其他官衙署等ヨリ到達シタル文書ヲ登記ス)

郡市長委任條件

明治 年 月 日		○町(村)長印	
番 號	主任 印	件	名 官 衙 人 民
		何々ノ義ニ付願伺	大字何 何
		何々ノ義ニ付届上申	大字何 何ノ誰外何名
		何々ノ義ニ付達指令	郡知 郡事
		何々ノ件ニ付照會回答	郡役所第何課 直間稅分署
送 達 簿			
番 號	町(村)長 印	何 月 何 日	
第 何 號	印	何々ノ件	郡 役 所
			直間稅分署

上申、往復、告示等各部門ヲ分ツヘシ
第四章 郡市長委任條件

○縣令第四十號 明治二十五年 五月二十七日

明治二十二年(七月)縣令第五十七號郡市長委任條件左ノ通改正ス
但市町村ノ學事ニ關スル件ハ明治二十四年(三月)勅令第十九號ニ依リ一時從來ノ小學
校ヲ存續スル間ハ尙從前ノ例ニ依ル

郡市長委任條件

- 第一 市町村立小學校長訓導準訓導郡市醫ノ除服達並歸省養痾願及忌引届ノ事
- 第二 市町村立小學校長訓導準訓導縣内出張ノ事
- 第三 郡役所備進退ノ事
但懲戒處分ニ關スルモノハ此限ニアラス
- 第四 郡役所備市町村立小學校準訓導並其家族ノ商業願ニ關スル事
- 第五 戶籍ニ關スル諸願ノ事
但亡兄ノ遺妻ト結婚願戶籍上誤謬訂正願及脱籍者就籍願ハ此限ニアラス
- 第六 逃亡死亡絶家ノ財產處分ノ事
- 第七 縣社以下ノ神社並寺院佛堂等再建修繕及再建延期願ノ事
但延喜式内國史現在ノ神社及文明十八年以前創立ノ建物ハ此限ニアラス
- 第八 縣社以下ノ神社並寺院佛堂境内倒木及枯竹木伐採處分ノ事
- 第九 社寺什物取締ノ事
- 第十 祠堂祠掌進退ノ事
- 第十一 社寺境内一時貸渡ノ事

郡市長委任條件

- 第十二 官有地道路ヲ一時貸渡ノ事
- 第十三 官有地ニ建設セル民有ノ建物賣買讓渡及書入ノ節貸地證明ノ事
- 第十四 官有地ノ採取ニ季節アル雜產物蕨晚筍菌桑葉ノ類拂下ノ事
但山林原野ニ係ルモノ、五ヶ年以上ノ年期拂下ハ此限ニアラス
- 第十五 官有地ノ雜草及葎等拂下ノ事
但山林原野ニ係ルモノ、五ヶ年以上ノ年期拂下ハ此限ニアラス
- 第十六 官有ノ池沼ニ生スル魚鱉水草等一時拂下ノ事
- 第十七 官有地國土保安又ハ修路治水ニ轉石及砂利等一時拂下ノ事
但代金五拾圓ヲ超過スルモノハ此限ニアラス
- 第十八 電線道路田畑水利ニ障礙アル官有樹木社寺境内ノ伐採處分ノ事
- 第十九 非常ニ際シ治水修路ノ爲メ官有地ノ竹木伐採處分ノ事
- 第二十 官有地ノ倒木及枯損木拂下ノ事
- 第二十一 道路河渠堤塘用惡水路側開堰埭溜池等新設變更ノ爲メ潰地ニ係ル地所地種目
變換及其官有ニ寄附シタルモノ、登記請求ノ事
- 第二十二 民有ニ屬セサル往還並木ノ枯損木處分ノ事
- 第二十三 縣稅支辨ニ係ル道路橋梁堤防急破修繕ノ事
- 第二十四 縣稅支辨ニ係ル道路橋梁流失等ノ節一時換路架橋又ハ渡船等ヲ設クル事
- 第二十五 他郡市ニ接續セサル里道ノ道路橋梁新設變更ノ事

- 但官有ニ係ル潰地及官有道路ノ變更ニ要スル潰地ニシテ民有ノ儘据置クモノハ此限ニアラス
- 第二十六 里道ノ幅員切擴ノ事
但官有ニ係ル潰地及官有道路ノ幅員切擴ニ要スル潰地ニシテ民有ノ儘据置クモノハ此限ニアラス
- 第二十七 他郡市ノ利害ニ關セサル樋閘堰埭溜池用惡水路溝渠等新設變更ノ事
但潰地官有ニ係ルモノ及河身ニ關係アル用惡水路ハ此限ニアラス
- 第二十八 水車新設願ノ事
但潰地官有ニ係ルモノ及河身ニ關係アルモノハ此限ニアラス
- 第二十九 用惡水路疏通ノ爲メ道路一時堀削願ノ事
但街路取締規則施行區域内ニ係ルモノハ此限ニアラス
- 第三十 度量衡檢査ノ事
- 第三十一 市場興廢ノ事
- 第三十二 種牡牛馬鑑札願ノ事
- 第三十三 漁業願ノ事
但窺場新設願ハ此限ニアラス
- 第三十四 蠶糸業組合員證票捺印ノ事
- 第三十五 日本形船舶積量測定ノ事

- 第三十六 市町村立小學校臨時休業及校舍模様替ノ事
- 第三十七 墓地倒木及枯木伐採處分ノ事
- 第三十八 備荒儲蓄倉管守ノ事
- 第三十九 縣稅滯納處分ノ事
- 第四十 聯合町村會評決ノ施行ヲ町村長ニ命スル事

第七章 報 告

○訓令第百一十一號 明治二十四年十二月七日

郡市役所

明治二十四年(八月)本縣訓令第九十號山形縣報告例中年報第三縣會議員選舉調ヲ郡會議員選舉調トシ第二表左ノ通改ム

發送期日一月二十日

郡會議員選舉調

(明治何年十二月三十一日現在)

郡 役 所

年 報		族 籍		員 計		選 舉 所	
平 士 華	民 族 族	郡 議 員	町 村 議 員	郡 議 員	町 村 議 員	郡 議 員	町 村 議 員
		選 舉	選 舉	選 舉	選 舉	選 舉	選 舉
		者	者	者	者	者	者
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト	ト	ト	ト
		シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ
		選	選	選	選	選	選
		者	者	者	者	者	者
		ト	ト	ト			

報 月

地名	種 目	種 目	反 別	價 格	變 換	事 由	舊 所 有 者 氏 名
	舊	新		評 定	年 月 日		
合計							

本表ハ民有地ヨリ官有地ニ變換シ又ハ民有地第一種ヨリ同第二種ニ變換シタルモノヲ掲
クルモノトス

舊地種目ノ欄ニハ民有地第一種田畑宅地等ヲ記シ新地種目ノ欄ニハ官有地第三種道路溝
渠民有地第二種溜池等ヲ記スヘシ

評定價格ノ欄ニハ買上代金アルモノハ其代金買上代價ナキモノハ評定價格ヲ記スヘシ其
民有地第二種ニ屬スルモノハ本欄ヲ要セス

變換年月日トハ工事落成地種組替處分ノ日ヲ云フ
○訓令第五十九號 明治二十五年
五月二十八日

郡 市 役 所

明治二十四年(八月)訓令第九十號本縣報告例中左ノ通改正追加ス

日 報 ノ 部

改 正

第二十八 市公民權ノ特免及市費増課處分

第三十一 市内ニ區ヲ設置シ區長及代理者ヲ置クコト及之ヲ廢スル事

追 加

第六十二 市會議員選舉ノ結果及其選舉錄謄本

第六十三 市會議決ノ執行停止及再議ニ付シタル事件

第六十四 市會議員選舉ノ効力ニ關スル處分

第六十五 常設及臨時委員ヲ設置シ及廢止スル事

第六十六 市吏員選舉ノ結果

第六十七 市長助役及收入役ノ就任及退任

第六十八 市會議事細則及役所内諸規定

第六十九 市稅息納處分ニ係ル人員及金額

第七十 收入役事務引繼ノ顛末

第七十一 町村長助役ノ就任及退任

年 報 ノ 部

改 正

第八 郡市有財產表及市ノ事務報告書謄本

雜ノ部

報 告

追 加
 第八 縣稅既未納報告
 第九 郡市會議事ノ景況
 第一表

第一表
 納期後十五日限及
 完了迄十五日毎
 閉會ノトキ

縣稅既未納報告 (明治何年度)

郡 役 所

町 村 ノ 目	地 租		割 割		營 業		稅 稅		雜 種		稅 稅		戶 數		割 割		未納 金
	高	豫算	高	豫算	高	豫算	高	豫算	高	豫算	高	豫算	高	豫算	高	豫算	
合計																	

豫算及收入ノ欄ニハ月稅日稅ニ係ルモノヲ除ク

● 第二編 賑 恤

第四章 凶荒救助

○縣令第八號 明治二十五年
 二月八日

備荒儲蓄規則縣會ノ決議ヲ經内務大藏兩大臣ノ許可ヲ得テ左ノ通相定メ來ル四月一日ヨリ施行ス

備荒儲蓄規則

- 第一條 儲蓄金ヨリ生ズル利子及其他ノ收入金ハ救助等ノ費途ニ充テ尙殘餘アルニ於テハ公債證書ヲ購入シ若クハ預金トナスモノトス
- 前年度繰越金ハ預ケ金トシ若クハ公債證書ニ交換シテ利殖スヘシト雖トモ若シ救助費ニ不足ヲ生ジタルトキハ補充給足スルモノトス
- 第二條 公債證書ハ縣廳ニ於テ之レヲ保管シ現金ハ公債證書ヲ抵當トシ管内ニアル銀行(本支店)ヘ利付ヲ以テ之ヲ預クルモノトス
- 第三條 凶荒及不慮ノ災害ニ罹リ親戚隣保等ノ救助スルモノナキ窮民ニ食料小屋掛料農具料種穀料ヲ給スルハ左ノ項目ニ依ル
- 第一 食料ハ男ハ一日米四合女ハ同三合老幼 滿六十年以上滿十四年以内ヲ云フ ハ女ノ割合ヲ以テ三十日以内給與スルモノトス
- 但災害ノ狀況ニ依リ目下食料ニ差間フルトキハ七日以内炊出ヲ與フルコトア

ルヘシ此場合ニ於テハ食料給與日數ヲ合セ本文日限ヲ超ユルヲ得ス
第二 小屋掛料ハ一戸金拾圓以内トス

但罹災ノ後直ニ借家或ハ同居スルコトヲ得ル者ヘハ小屋掛料ヲ給ゼスト雖トモ前項但書ノ場合ニ於テ目下居所ニ差間フルトキハ本文額内ヲ以テ假小屋ヲ營ミ一時ノ急ヲ救フコトアルヘシ

第三 農具料ハ一戸金拾圓以内種穀料ハ同五圓以内トス

但其給與方ハ耕耘ニ從事スヘキ人員及其耕耘ノ多寡ニヨリ適宜之ヲ給與スヘシ

第四條 災害ニ罹リタル窮民ニ地租ノ全部若クハ幾部ヲ貸與シ又ハ補助スルハ左ノ項目ニ據ル

第一 地租貸與ハ土地家屋ヲ賣却スルニ非サレハ地租ヲ納ムル能ハサルモノニ限ル

第二 地租補助ハ貸與年賦返納期限内重テ災害ニ罹リ土地家屋ヲ賣却スルニ非サレハ地租ヲ納ムル能ハサルモノ又ハ地租貸與ヲ受ケサルモ特別ノ事情アルモノニ限ル

第五條 地租貸與返納期限ハ一ケ年据置五ケ年賦トス

但地租ヲ補助セシ年ハ貸與返納年限中ニ算入セス

第六條 第四條ノ場合ニ於テハ市町村長其實況ヲ審査シ之ヲ知事ニ具申スヘシ

第七條 年賦期限内土地若クハ家屋ヲ賣却スルトキハ其旨市町村長ニ届出ヘシ

市町村長前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ其貸與ノ金額ヲ一時ニ返納セシムヘシ

第八條 年賦期限内不慮ノ災害ニ罹リ年賦金額ヲ返納シ難キトキハ其年分ヲ猶豫スルコトアルヘシ

第九條 年賦期限内地租貸與ノ土地流亡荒蕪等ニ罹リタルトキハ未納ノ貸與金ヲ棄捐スヘシ

第十條 儲蓄金ノ出納決算ハ翌年通常縣會ヘ報告ノ後更ニ管内ニ公告スヘシ
附 則

第十一條 本則ハ自今改正ノ必要ナキ間ハ連年据置クモノトス

●第三編 道路水利

第一章 道路

○告示第百號 明治二十四年十一月十一日
 明治二十三年(二月)告示第二十五號假定縣道第一號路線里程左之通更正ス
 第一號假定縣道 國道線中赤湯ヨリ分レ小國ヲ經テ新潟縣管轄界ニ達スル路線

郡名	經路地名	里程
東置賜郡	赤宮	壹里壹町三拾壹間 貳里拾五町貳拾間壹分
西置賜郡	今泉 松原 手澤 沼澤 伊佐 小坂 新國 瀨縣 界	壹里貳拾町八分 貳里拾九町拾五間壹分 三里三拾三町八間六分 貳里拾六町拾九間貳分 貳里拾五町三拾三間六分 壹里貳拾四町五拾三間九分

第二章 水利

○縣令第十九號 明治二十五年三月十一日
 明治二十五年四月一日ヨリ內務大臣ノ指揮ヲ受ケ水利組合條例ヲ施行ス

第三章 土木費

○縣令第三十九號 明治二十五年五月二十四日
 郡市町村土木補助費申請及工事監督規程左ノ通相定ム

但明治十八年(六月)乙第四十九號逕町村土木補助費取扱順序ハ廢止ス

郡市町村土木補助費申請及工事監督規程

第一條 縣稅ノ補助ヲ請求セントスルトキハ管理者ニ於テ其工事ヲ計畫シ議會ノ決議ヲ

經テ前年度三月限り其繼年工事ニ係ルモノハ同六月限り本廳ニ補助ヲ申請スヘシ

但天災地變等ニ依リ臨時補助ヲ要スルトキハ其都度事由ヲ具シテ申請スルコトヲ得

第二條 補助申請書ニハ左ノ圖面書類ヲ添附スヘシ

一 實測圖面

二 工事設計及豫算書

三 潰地ヲ要スルトキハ官民有潰地調書及其概略圖

四 決議錄

五 關係地價及戶數調

第三條 補助費ハ工事ノ緩急及設計ノ適否ヲ審査シ實際郡市町村ノ負擔ニ堪ヘ難キ事情

アリト認ムルモノニ限り之ヲ補助スヘシ

第四條 縣稅補助ノ許可以前ニ施工セシモノハ何等ノ事情アリト雖トモ該補助費ハ下附

セサルモノトス

但非常ノ大破ニ係リ寸時モ捨置難キ場合ニ際シ豫メ許可ヲ得テ施工シタルモノハ本文ノ限リニアラス

第五條 縣稅補助ノ請求ニ係ル工事ハ本廳ヨリ係官ヲ派遣シ事業ノ利害施工ノ緩急又ハ豫算及工法上ノ適否ヲ審査セシム
其補助スヘキ事業ニシテ設計及豫算書ノ不適當ナリト認ムルモノハ更ニ訂正セシムルコトアルヘシ

第六條 管理者ハ補助許可ノ日ヨリ二十日以内ニ起工及竣工ノ日限ヲ定メ本廳ニ届出ツ

第七條 縣稅ノ補助ニ係ル工事ハ本廳ニ於テ之ヲ監督ス

第八條 縣稅補助ニ係ル事業ニシテ特ニ技術工藝ヲ要シ其設計及施工ノ指揮ヲ本廳ニ申請シタルトキハ係官ヲシテ其事ヲ掌ラシムルコトアルヘシ

但係官ノ旅費日當其他測量設計等ニ係ル費用ハ該事業ノ關係郡市町村ニ於テ支辨スヘシ

第九條 補助許可ノ後工事ノ變更ヲ要スルトキハ管理者ニ於テ議會ノ決議ヲ經設計豫算書ニ圖面及其他必要ト認ムル書類ヲ添ヘ伺出許可ヲ受クヘシ

第十條 前條工事仕様變更ノ爲メ工費豫算ニ増額ヲ生スルモ特別ノ事情アルニアラサレハ補助セサルモノトス若シ減額ヲ來シタル場合ハ更ニ歩割ヲ以テ補助費ヲ控除ス

第十一條 工事監督上必要ノ場合アルトキハ隨時係官ヲシテ臨檢セシメ尙時宜ニヨリ該

工事ニ關スル諸帳簿ヲ點檢セシムルコトアルヘシ

第十二條 工場ニ關スル取締方法ヲ設ケ工事係ヲシテ日々工事ノ狀況并ニ使用人夫及材料ノ員數ヲ工事日程ニ詳録シ工事ノ出來形及工費ノ出納ヲ明瞭ナラシムヘシ

第十三條 補助費ハ工竣功後出來形精算帳ヲ添ヘ請求スヘシ其補助額五百圓以上ニ涉ルモノハ三回以内ニ分通請求スルコトヲ得

但分通金高ハ工事出來形ニ相當スル價格ノ十分ノ八トス

第十四條 前條補助費ノ請求アルトキハ係官ヲ派遣シ出來形檢査ノ上之ヲ下附スヘシ但繼年工事ノ出來形檢査ハ其年度ノ工費ニ對スル出來形ニ就キ檢査スヘシ

第十五條 無止事故ニヨリ年度内事業ヲ竣功シ能ハサルトキハ一旦打切り精算ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ其工費ニ對シ補助費ヲ下附スルモノトス

第十六條 前條ノ場合ニ於テハ其精算帳ヲ製シ翌年度初月二十日限り本廳ニ差出スヘシ第十七條 工竣功檢査上其出來形所定ノ設計ニ違フト認ムルトキハ日數ヲ限り其更正ヲ命スルコトアルヘシ

若シ本條ノ場合ニ於テ指定ノ日限内更正セサルトキハ該補助費ハ下附セサルモノトス第十八條 補助費ノ下渡ヲ請ハントスルトキハ第一號及第二號書式ニヨリ請求書ヲ差出

スヘシ

第一號

請求書

土木費

三二

工費高金何圓

一金何圓

明治何年何月何日指令

但何郡市町村何々工事縣稅補助費

右御渡相成度請求候也

工事管理者

何郡市町村長 某

印

年月日

知事 宛

第二號

請求書

工費高金何圓

補助高金何圓

一金何圓

明治何年何月何日指令
何分通出來形ハ悉皆
竣功ニ付今回請求高

但何郡市町村何々工事縣稅補助費

外

金何圓

何月何日受取濟

金何圓

同上

右内金(殘金)御渡相成度請求候也

工事管理者

年月日

知事 宛

何郡市町村長 某

印

○縣令第六十八號

明治二十四年
十二月八日

本年(三月)縣令第十七號縣稅中土木費及町村土木補助費支辨方法中左ノ通更正ス

一 題號中土木費及ノ下へ(郡市)ノ二字ヲ加フ

一 第三條第一項ノ末ニ左ノ通追加ス

二十九 高橋字平段ヨリ寺津ニ達スルモノ

一 第四條第一項工費三分以内ノ下へ(但板谷街道ニ限リ五分以内)ノ十二字ヲ加フ

土木費

三三

●第四編 地理

第一章 官地處分

○告示第九十七號 明治二十四年十一月四日

官有林野ノ立木又ハ木材ノ檢査及引渡ニ用ユル極印ノ使用規則左ノ通相定ム

立木及木材檢査極印使用規則

- 一 極印ハ檢印、拂印、山印ノ三種トス
 - 二 檢印ハ立木又ハ木材ノ拂下或ハ讓與出願ニ際シ其立木又ハ檢査ヲ爲セシトキ立木ハ樹幹目通ニ木材ハ視易キ所ニ伐跡檢査ノ際ハ其伐跡斷面ニ打印スヘシ
 - 三 拂印ハ立木又ハ木材引渡ノ際立木ハ樹幹ニ木材ハ視易キ所ニ根株拂下ノ際ハ伐跡ニ打印スヘシ
 - 四 山印ハ拂下木ノ根株、盜誤伐木及其伐跡、境界木其他區域ヲ定メ拂下タル林野中存置ヲ要スヘキ立木及其堺木等ニ打印スヘシ
 - 五 檢印、拂印ハ墨肉ヲ用ヒ山印ハ墨朱肉適宜使用スルモ妨ケナシ
 - 六 極印ヲ誤打セシトキハ朱肉ノ同印ニテ消印スヘシ
但朱肉ヲ用ヒタル山印ヲ消印スルトキハ墨肉ヲ用ユヘシ
- 縣令第二號 明治二十五年一月二十日
- 明治十一年(三月)甲第四號內務省布達部分木仕付條例ニ依リ官有山林原野内へ部分木仕付出願、節ハ爾後明治廿三年十一月勅令第二百七十五號官有財產管理規則第七條ニ準據

シ相當ノ年期ヲ付シ差出スヘシ

○告示第五號 明治二十五年二月三日

明治二十三年七月縣令第三十一號原野拂下規則第六條第四及明治二十四年三月縣令第九號官有地貸渡規程第五條ノ事業功程届ノ義ハ左ノ雜形ニ準據シ差出スヘシ

(雜形)

事業功程御届

何郡何町(村)大字何々番

一何々町步

明治何年何月何日許可

此成功期限自明治何年何々年期至同何年何々年期

昨何年成功スヘキ豫定反別左ノ如シ

何町步

昨何年成功シタル反別左ノ如シ

何町步

内

何反步

何反步

何反步

何反步

畑 田 何々 何々 何々

官地處分

右圖面相添及御届候也

年月日

山形縣知事宛

前書之通相違無之ニ付奥印候也

年月日

○訓令第十六號 明治二十五年 二月二十二日

住所	氏名	印
市町村長	氏名	印
郡市役所		
町村役場		

官有ノ土地木竹其他雜產物拂下貸下等ノ願書ヲ受タルトキハ該願書ハ諸法令又ハ本縣ノ
 令違ニ違背セサルヤ否ヤニ注意スルハ勿論字番反別及實測圖面等ノ差違ヲモ調査シ認印
 ノ上進達スヘシ

○縣令第十號 明治二十五年 二月二十六日

官有原野ノ豫約拂下又ハ荒蕪地等ニシテ素地相當代價ヲ既定シタル無料借用願ニ對シ許
 可ヲ得タルモノハ二十三年縣令第三十一號第六條第四及二十四年縣令第十九號第五條第
 一項ニ依リ事業ノ功程ヲ届出ヘキハ勿論ナルモ願地悉皆成功シ又ハ其成功セシ部分ノミ
 ノ所有權ヲ得ント欲スルトキハ左ノ雛形ニ據リ更ニ其旨請求スヘシ

豫約地(無料開墾)拂下願

國郡市町村大字名地番號

一 地目反別何程

明治何年月日 (豫約拂下) 許可 (無料開墾)

此 (豫約拂下素) 金何程

內 (成功セシ部分ノミノ所有權ヲ得
ト欲スルトキハ此內譯ヲ附スヘシ)

反別何程

此 (豫約拂下素) 金何程

前記ノ地所悉皆 (又ハ內) 開墾成功致候ニ付テハ豫約金 (又ハ素地相
 當代價金) ヲ以テ該地所御拂下
 被成下度實測圖面相添此段請求候也

郡市町村大字名番地

明治 年 月 日

願人 氏名 印

山形縣知事宛

前書之通相違無之候也

明治 年 月 日

市町村長 氏名 印

○訓令第四十二號 明治二十五年 四月二十一日

郡 役 所

氣象報告手續左ノ通相定メ候條來ル五月一日ヨリ該手續ニ依リ山形測候所へ報告スヘシ
 但雨量觀測ハ當分南置賜最ト飽海三郡ニ於テ之ヲ行フ

氣象報告手續

第一條 氣象報告ヲ分テ左ノ三種トス

一 定期報告

一 臨時報告

一 動植物季節報告

第二條 前條ノ報告ハ左ノ類別ニ從ヒ報告スヘシ

一 定期報告ハ毎日標準時午前十時ニ於テ觀測セル温度(午後二時ト二回)雨量、風向、風力、天氣及大氣現象ノ大要

一 臨時報告ハ暴風雨、洪水、地震、雷雨、山岳墮崩、海嘯等總テ非常ノ現象及被害ノ有無並霜雪ノ始終期日又ハ不時ノ降雹

一 動植物季節報告ハ其地普通ノ動植物ノ發生發居(渡鳥ノ去來共)或ハ播種、發芽、開化、成熟等ノ季節

第三條 報告期限ハ左ノ如シ

一 定期報告ハ翌月五日以内

一 臨時報告ハ或現象ノ終リタル時ヨリ二日以内

一 動植物季節報告ハ翌年一月十日以内

第四條 觀測ハ郡役所々在地ニ於テ之ヲ行フモノトス

但事宜ニ依リ變更スルコトアルヘシ

第五條 郡役所ニ於テハ氣象報告擔任者二名ヲ定メ其官氏名ヲ届出ヘシ

但擔任者ハ氣象報告ニ記名捺印スヘシ

第六條 觀測法心得ハ山形測候所ヨリ配付セルモノヲ使用スヘシ

○訓令第六十四號 明治二十五年五月二十八日

郡 役 所

明治二十三年(六月)訓令第四十一號及同年(八月)訓令第五十三號ノ次ヘ左ノ二項ヲ追加ス

四 一區域一町步以下ノ地所ニシテ豫約拂下及素地相當代價ヲ既定シタル無料開墾借用願

用願 五 豫約地及素地相當代價ヲ既定シタル無料開墾借用地既成ノ分拂下願

第六章 林 務

○告示第四號 明治二十五年二月一日

明治二十四年七月農商務省令第八號ニ基キ極印使用方宮城大林區署ニ於テ左ノ通相定メ

候旨同署ヨリ通知アリ

極印使用區別

本署ニ於テハ明治二十四年七月二十三日農商務省令第八號ニ基キ左ノ規定ノ區別ニ依リ極印ヲ使用ス

第一 極印ハ檢印拂印山印ノ三種トス

- 第二 賣渡讓與ヲナスニ當リ檢査ヲ遂ケタル時ハ檢印並ニ山印ヲ使用スルコト左ノ如シ
- 一 立木ニハ其樹幹ノ目通ニ檢印ヲ打シ並ニ番號ヲ附シ且ツ根際ニ山印ヲ打ス
 - 二 倒木及木材ニハ其表面ノ觸目シ易キ部分ニ檢印ヲ打ス
 - 三 根株ニハ其倒面ニ檢印ヲ打ス
 - 四 區域ヲ定メ賣渡スヘキ場所ニハ其境界樹ノ目通ニ檢印ヲ打シ且ツ番號ヲ附ス
- 第三 前各項ノ檢査ヲ了シ引渡ヲナス時ハ拂印及山印ヲ使用スルコト左ノ如シ
- 一 立木ニハ其目通ニ拂印ヲ打ス
 - 二 倒木及木材ニハ其表面ノ觸目シ易キ部分ニ拂印ヲ打ス
 - 三 根株ニハ其斷面ニ拂印ヲ打ス
 - 四 區域ヲ定メ賣渡シタル場所ハ境界樹ノ目通ニ山印ヲ打ス
- 但此境界樹ハ賣渡區域ノ内外ヲ明示スルカ爲メニ設クルヲ以テ存置スヘキモノトス
- 第四 單ニ山印ヲ使用スルハ左ノ場合ニシテ樹幹ノ目通及其表面ノ觸目シ易キ部分ニ打ス
- 一 森林境界樹設定ノ時
 - 二 貸地ニ境界標設置ノ時
 - 三 區域ヲ定メ賣渡シタル其區域内ノ存置ヲ要スヘキ立木
 - 四 盜誤伐木材及其伐跡

五 賣渡ニ係ル立木及木材沒收ノ時

第五 極印ハ總テ黒肉ヲ用ヒ誤打ノ時ハ朱肉ヲ以テ消印ス

○告示第二十九號 明治二十五年四月二十七日

今般宮城大林區署ニ於テ從來ノ小林區署及派出所ヲ廢シ更ニ左之通小林區署ヲ置キ來五月五日ヨリ開廳ニ付同署ヘ可差出願伺届等ハ當該小林區署ヲ經由可致旨通牒アリ

小林區名		小林區署位		管轄		區域	
國	郡	市町村	大字	縣	國	郡	市
新庄小林區署	羽前	最上	新庄町	山形	羽前	最上	新庄町 萩野村 船形村 稻舟村 東小國村 西小國村 金山村 及位村
高倉小林區署	羽前	最上	八向村	山形	羽前	最上	巨澤村 八向村 豐里村 鮎川村 古口村 安樂城村 眞室川村 大藏村 堀内村
鳥海小林區署	羽後	飽海	一條村	山形	羽後	飽海	一圓
鶴岡小林區署	羽前	西田川	鶴岡町	山形	羽前	東田川	一圓 但本鄉村 東村 大泉村 黃

	山形 署 小林		楯岡 署 小林	湯殿 署 小林		
	羽前		羽前	羽前		
			北村山	東田川		
	山形市		楯岡町	本郷村		
	山形 羽前	宮城 磐城	山形 羽前	山形 羽前		
	山形市	刈田	北村山	東田川		
	東村山	南村山				
	東置賜	刈田				
	中川村吉野村	七ヶ宿村大字湯ノ原内稻子ヲ除ク				
	一圓	一圓	一圓			
	但中村豊田村最上村ヲ除ク					
	廣瀨村ヲ除ク					
	金村齊村山添村黒川村					
	廣瀨村ヲ除ク					

朝日 署 小林	米澤 署 小林	小國 署 小林				
羽前	羽前	羽前				
西村山		西置賜				
寒河江 村	米澤市	小國本 村				
山形 羽前	山形 羽前	山形 羽前	宮城 磐城	山形 羽前		
西村山	東村山	西置賜	刈田	米澤市	西置賜	山形 羽前
一圓	中村豊田村最上村	鮎貝村	一圓	一圓	一圓	但中川村吉野村ヲ除ク
						但小國本村北小國村南小國村津川村鮎貝村ヲ除ク
						七ヶ宿村大字湯原ノ内稻子
						一圓
						小國本村北小國村南小國村津川村

●第五編 農商工業

第一章 農業

○達二第十號 明治二十五年三月二日

郡市役所

近來郡費又ハ一郡有志團體ノ費用ヲ以テ試驗田畑設置ノ地方有之候處右ハ農事改良上緊要ノ件ニ付未設郡市ニ於テモ適宜試驗地ヲ設置シ左ノ條項ニ準據シ互ニ氣脈ヲ聯通シ試驗ノ目的區々ニ流レサル様注意スヘシ

第一 試驗地ノ位置廣狹ハ其郡市ノ適宜トナスト雖トモ成ルヘク田畑各三反歩以上トシ公衆ノ參觀ニ便ナル地ヲ撰フヘシ

第二 試驗地ハ縣内又ハ郡市内重要農作物ニ就キ耕耘培養撰種播植除害等ニ關スル件ヲ實地試驗スルモノトス

第三 巡回教師ノ講授セル方法ハ之ヲ實施シ郡市内ノ摸範トナスヘシ

第四 本廳ニ於テ有益ト認ムル種苗肥料ハ之ヲ頒布シテ試驗セシムヘシ

第五 各試驗地ニ於テ實施セル事業ノ成績ハ内務部第二課ニ取纏メ廣ク管内ニ報告スヘシ

○縣令第五十一號 明治二十五年七月十二日

管下農作物ノ改良ヲ謀ラン爲メ組合ヲ設クルノ必要ヲ認メ農事改良組合準則左ノ通相定ム

農事改良組合準則

第一條 農事改良組合ヲ設ケントスルトキハ市町村若クハ市町村内ノ部落ヲ以テ一區域ト定メ區域内同業者ノ集會ヲ開キ規約ヲ作り縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二條 農事改良組合ハ其地方主要農作物ノ改良進歩ヲ企圖スルヲ目的トス其實施スヘキ事項ハ大略左ノ如シ

- 一 病害虫害驅除除防ノ事
- 二 耕作物ノ種類撰定ノ事
- 三 米穀乾燥調製法改良ノ事
- 四 耕地區畫改正ノ事
- 五 灌溉及排水ノ便ヲ計ル事
- 六 以上ノ外有益必要ニ係ル事

第三條 組合規約ニ掲クヘキ要領ハ左ノ如シ

- 一 組合ニ於テ施行スヘキ事項
- 二 組合ノ區域及事務所ノ位置
- 三 組合會ノ期日及其規程
- 四 組合役員ノ處務規程
- 五 費用ノ賦課及徵收方法
- 六 以上ノ外組合ニ於テ必要ノ事項

第四條 組合區域内ニアル同業者ハ其組合ニ加入スヘキモノトス

第五條 組合ニ關スル一切ノ費用ハ其組合員ノ負擔トス

第六條 組合ニ於テハ組合員ノ名簿ヲ調製スヘキコトトス

第七條 組合ノ役員ハ組合員中ヨリ互選シ縣廳ヘ届ケ出ヘキコトトス

第八條 組合ノ事蹟及組合會ノ記事類末ハ閉會後一ヶ月内ニ於テ縣廳ヘ届ケ出ツヘキコトトス

第九條 組合ニ於テ施行スル事項中ニ組合以上ニ涉ルモノアルトキハ組合聯合會ヲ開キ其協議ニ依ルヘシ

但此場合ニ於テ規約編製ノ必要アルトキハ規約ヲ作り縣廳ノ認可ヲ受クヘシ

○訓令第七十七號 明治二十五年七月十二日

郡市役所

管下農事ノ狀況ヲ察スルニ田圃ノ耕耘法ヲ改良シ耕作物ノ種類ヲ撰定シ虫病ノ驅除豫防ヲ實施シ其他耕地ノ區畫ヲ改正シ灌溉排水ノ便ヲ謀等地方共同ノ力ニ依ラサレハ其目的ヲ達シ以テ村落ノ福利ヲ増進スルコト能ハサルモノ甚タ多シトス近來農家其必要ヲ感シ同志會合シテ協會ヲ設クルアリト雖トモ會員タルモノ各地ニ散在シ隣保共同ノ利益ヲ收メ難キニ依リ今般縣令第五十一號ヲ以テ農事改良組合準則ヲ發令候條部内各地ノ實況ニ應ジ緩急ヲ計リ右準則ニ據リ組合ヲ設置候様精々誘導スヘシ

第四章 漁業

○縣令第七十號 明治二十四年十二月十九日

明治十七年本縣乙第九十一號河川漁業及種川取締規則第一號第二號願書雜形中「本年四月ヨリ察ル何年三月マテ一季間」ハ「本年何月ヨリ何月マテ向何月間又ハ一周年間」ト更正ス

第五章 鑛業

○訓令第百三號 明治二十四年十月二十三日

郡市役所

町村役場

鑛山試掘又ハ借區出願届書若クハ之ニ添屬スル圖面ニ不完全ノ廉アリテ訂正ノ爲メ出願人ニ下戻ストキハ出願人ノ領收書ヲ徵シ其月日ヲ速ニ開申スヘシ

但郵便ニ付スルモノハ書留ニテ取扱フヘシ

○縣令第三十六號 明治二十五年五月二十日

砂金砂鐵採取行業明細表ハ明治十三年工部省第六號布達雜形ニ照準シ一ヶ年分チ一表トナシ翌年一月十日限リ差出スヘシ

○縣令第三十七號 明治二十五年五月二十日

採掘特許者ニアラスシテ鑛物製煉業ニ從事スルモノハ族籍氏名及製煉所ノ位置ヲ届出且左ノ雜形ニ依リ前一ヶ年ノ工程ヲ調査シ翌年一月十日限リ差出スヘシ

但廢業其他異動ヲ生シタルトキモ亦届出ヘシ

明治二十五年五月告示第三十九號ニ依リ届書ヲ受理シタルトキハ十五日以内ニ公益ニ關
スル害ノ有無ヲ調査シ事實ヲ具申スヘシ

但本文期日内ニ差出シ難キ場合ニ於テハ其事由ヲ豫メ申出ツヘシ

○訓令第五十五號 明治二十五年
五月二十日

郡市役所
町村役場

鑛業條例實施以前ニ農商務省へ提出シタル左記出願ニ關スル届出ニ就テハ同條例實施後
ニ至ルモ尙従前ノ手續ニ依リ處理スヘシ

一 試掘及借區願

一 試掘又ハ借區ノ増減區願

一 試掘延期願

一 試掘又ハ借區ノ相續讓受渡及加除名願

一 試掘又ハ借區許可取消願

一 試掘又ハ借區願ニ添屬圖面訂正願

○訓令第五十六號 明治二十五年
五月二十日

郡 役 所

本年一月一日ヨリ五月三十一日ニ至ル鑛業明細表ハ明治六年工部省第十七號達雜形ニ照
準調製セシメ來八月十日マテニ取纏メ差出スヘシ

○告示第五十三號 明治二十五年
六月二十八日

明治二十五年六月農商務省令第十二號砂鑛採取出願手續第二條ニ依リ届出ツヘキ書類ハ
書留郵便ヲ以テ其出願地ノ郡市役所ニ差出スヘシ

○訓令第七十三號 明治二十五年
六月二十八日

郡 市 役 所

明治二十五年六月告示第五十三號ニ依リ届書ヲ受理シタルトキハ十五日以内ニ公益ニ關
スル害ノ有無ヲ調査シ事實ヲ具申スヘシ

但本文期日内ニ差出シ難キ場合ニ於テハ其事由ヲ豫メ申出ツヘシ

●第六編 衛生

第二章 取締規則

○達一第六十三號 明治二十四年十一月十九日

市役所
警察署
警察分署
町村役場

明治二十一年三月縣令第十二號屠獸場及屠獸取締規則第十條ニ依リ屠殺ヲ爲シタルトキハ警察署又ハ分署ニ於テハ頭數及種類屠殺人姓名ヲ其都度市役所町村役場へ通知スヘク市役所町村役場ニ於テハ該通知ニ依リ税金徵收方取計フヘシ

○縣令第三十二號 明治二十五年四月十一日

藥劑師藥種商製藥者ノ外ト雖トモ繪ノ具染料並職工用等ニ用ユル藥品ヲ販賣スルトキ本年三月內務省令第二號毒劇藥品目ノ藥品ハ總テ明治二十二年三月法律第十號藥品營業並藥品取扱規則毒劇藥ノ危險ヲ防禦スル各本條ニ依リ取扱フヘシ

○達三第二十七號 明治二十五年四月十一日

郡市役所

今般縣令第三十二號ヲ以テ藥業者外ニ於テ販賣スル藥品取扱方之儀布令候ニ付テハ該販賣者ノ住所氏名取調至急届出ツヘシ

但自今開廢業之節モ其都度届出ツヘシ

○達三第四十六號 明治二十五年七月六日

郡市役所
町村役場

本年(四月)縣令第三十二號ヲ以テ繪ノ具染料其他職工用ニ供スル藥品取扱方布達候處右ハ明治二十二年(三月)法律第十號藥品營業並藥品取扱規則第二十九條第三十條第三十一條第三十二條第三十六條第三十七條ノ各本條ニ據ラシメ其使用ニ充ツヘキ毒劇藥ヲ零賣スルモ差支ナキ儀ニ付其旨營業人へ達スヘシ

○縣令第四十七號 明治二十五年七月六日

繪ノ具染料其他職工用ニ供スル藥品ヲ販賣セントスルモノハ縣廳へ願出ツヘシ又死亡廢業並族籍住所氏名ヲ變更シタルトキハ其都度届出ツヘシ
現ニ營業スルモノハ本月三十一日限リ願出ツヘシ
但藥劑師ハ本文出願ノ限リニ非ラズ

○縣令第四十八號 明治二十五年七月六日

醫師患者ノ診斷ヲ爲サスシテ藥劑ヲ授シ若クハ診斷書ヲ與ヘ又ハ死体ヲ檢案セスシテ死亡檢案書ヲ與フル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

○縣令第四十九號 明治二十五年七月六日

明治十六年(一月)乙第六號布達ハ廢止ス
○訓令第八十號 明治二十五年
七月二十一日

郡市役所
警察署
警察分署
町村役場

明治二十三年(十一月)訓令第七十八號ヲ以テ各市町村ニ衛生組合ヲ設置セシメ爾來成績如何ヲ觀察スルニ其形体ハ既ニ備ハレリト雖モ其機關ノ作用ニ至リテハ未ダ實効ヲ收ムル能ハサルノ憾ナキニ非ス抑衛生組合設置ノ要旨ハ隣保相互ノ約束ヲ鞏固ニシ衛生上諸般ノ注意ヲ喚起セシメ其實行ヲ期スルニアリ而ルニ從來ノ經驗ニ依レハ傳染病ノ發生及傳播ノ素因ハ一人一家ノ不注意ニ起因シ延テ全聚落ニ及ホスモノ多シ故ニ目下之レカ豫防ノ目的ヲ實際ニ貫徹セシムルノ急要ハ該組合ヲシテ一層發達セシムルニ在リ今ヤ酷暑ニ際シ清潔法ノ施行其他豫防上最モ等閑ニ付スヘカラサルノ季節ニ付衛生組合設置ノ主旨實際ニ徹底候儀猶一層注意スヘシ

第三章 傳染病豫防

○訓令第七十四號 明治二十五年
七月六日

郡市役所
警察署

傳染病患者届出方自今左ノ規程ニ據リ取扱フヘシ

警察分署
町村役場

傳染病患者届出規程

- 第一條 醫師傳染病患者ヲ診斷シ傳染病豫防規則第二條ニ依リ市町村長へ通知スルトキハ第一號書式ニ據ラシムヘシ但直ニ警察署又ハ警察分署へ届出ツルトキモ亦同シ
 - 第二條 醫師施治ノ患者全治者ノハ死亡シタルトキハ第二號及第三號書式ニ據リ全治ハ三日間内死亡ハ二十四時間内ニ市町村長へ通知セシムヘシ
 - 第三條 醫師他ノ醫師ノ施治ニ係ル患者ヲ傳染病ナリト診斷シ双方意見ヲ異ニシタルトキハ其旨第一條ノ手續ニ依リ届出ツヘシ
 - 第四條 醫師施治ノ患者ニシテ他へ移轉スルトキハ其旨市町村長へ通知セシムヘシ
 - 第五條 市町村長ニ於テ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ先キノ市町村長へ通知スヘシ
 - 第六條 市町村長ニ於テ第一條第二條第四條第五條ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ市長ハ縣廳町村長ハ第四號書式ニ據リ郡役所ニ届出同時ニ警察署又ハ警察分署へ通知スヘシ
- 第一號書式
何病患者診斷書

府縣郡市町村大字番地族籍
寄留ナレハ其旨ヲ記ス

戸主又ハ父母兄弟妻子
 職業 氏
 生 年 月 名
 病名 年月日時發病 (痘瘡患者ハ未種痘初種痘或ハ再二種痘若クハ) 年 月 名
 原因 年月日時診斷 (天然痘等ノ別チ本項ノ下ニ記スヘシ) 年 月 名
 特發傳染ノ別
 右診斷候也

年月日

患者隔離ニ適當ナル家屋若クハ別室ノ有無ヲ附記ス

某郡市町村大字番地
 施治醫 氏 名 印

第二號書式

何病患者全治報告

第一號書式ニ同シ

病名 年月日時發病
 年月日全治
 病勢 易劇
 續發症 有無
 右報告候也

第一號書式ニ同シ

第三號書式

何病患者死亡報告

第一號書式ニ同シ

病名 年月日時發病
 年月日死亡
 病勢 易劇
 續發症 有無
 死亡原因
 右報告候也

第一號書式ニ同シ

第四號書式

何病患者全治報告

第一號書式ニ同シ

右ハ施治醫某ヨリ別紙診斷書寫 (全治又ハ) 死亡報告ノ
 通知相成候ニ付此段及御報知候也
 某郡(町) 村長 氏 名 印
 年月日
 (郡長警察署長又ハ警察分署長) 宛

●第七編 戸籍

○訓令第十一號 明治二十五年 二月十六日

郡市役所
町村役場

明治十一年十二月丙第百二十一號達婦女再嫁ノ件左ノ通更正ス

婦女再嫁ノ儀ハ離縁後十ヶ月経過ノ者ニ限り取扱ヘシ但六ヶ月以上遺胎ノ徴候ナキ旨
醫師二名ノ保證於有之ハ届書ヘ右保證書添付セシムヘシ

○訓令第十二號 明治十五年 二月十六日

郡市役所

婦女再嫁ノ件ニ付本日訓令第十一號ヲ以テ取扱方更正候ニ就テハ入夫結婚ノ儀出願有之
節モ該訓令ニ準シ取扱フヘシ

○訓令第七號 明治二十五年 三月三日

郡市役所
町村役場

脱籍者就籍願濟又ハ出生届洩處分ニ依リ戸籍面額書變更ヲ來ストキハ其事由届出テサシ
メ市町村長之レヲ訂正スヘシ

○訓令第七十一號 明治廿五年 三月廿五日

郡市役所

本籍人出生届出ノ節ハ戸籍腹書ニ年月日記載捺印ノ事項欄内ヘ登記スルニ及ハス

但本文ニ抵觸セル旨同指令ハ取消ス

第八編 兵 事

第一章 徵兵

○達三第六十五號 明治廿四年十一月廿七日

陸軍幼年學校生徒入學後身元財産ニ異動ヲ生シ減費ノ詮議ヲ出願スル者アルトキハ身元保證人ヨリ最初志願セシトキノ財産ニ異動ヲ生セシ事實並ニ物件金員等ヲ詳記シ學資金額ヲ納ムル能ハサルノ理由ヲ記載シ郡市長(郡ニ在テハ町ニ在テハ村長)ニ差出サシメ郡市長ハ之ヲ查實シテ縣廳ニ差出スヘシ

但武官ニシテ現役ヨリ休職停職若クハ豫備後備ニ入タル爲メ財産ヲ減シタル如キハ縣廳ヲ經由スルニ及ハス

○訓令第四十四號 明治廿五年四月廿三日

郡 役 所
町 村 役 場

徵兵事務手續別冊ノ通定ム

但明治廿三年(二月)訓令第一號ヲ廢ス

徵兵事務手續

第一章 徵兵願届

第二條 令第二十五條ニ依リ一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳ト爲ル者一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ第一書式ノ適齡届書ヲ本籍ノ市町村長ニ差出サシムヘシ

第二條 令第二十條ニ當ル者ハ條例第六十二條ニ依リ第二書式其一其二ニ倣ヒ同徵募區内其年ノ徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主二名ノ保證書ヲ添ヘ徵集延期願書ヲ三月一日迄ニ大隊區徵兵官ニ差出サシムヘシ

前項ノ事故家族ノ疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付セシムヘシ

第三條 令第二十一條ニ當ル者ハ條例第六十二條ニ依リ第一項ハ學校長ノ證明書第二項ハ公使又ハ領事ノ證明書ヲ添ヘ第三書式ノ徵集猶豫願書ヲ三月一日迄ニ大隊區徵兵官ニ差出サシムヘシ

第四條 令第二十六條及條例第七十條ニ當リ他ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應セント欲スル者ハ第四書式ノ寄留地應徵願書又ハ寄留地最寄徵募區應徵願書ヲ三月一日迄ニ本籍地郡市長ニ差出サシムヘシ

細則第四十五條ニ依リ寄留地ニ於テ身体検査ヲ受ケントスル者ハ第四書式ノ寄留地身体検査願書ヲ三月一日迄本籍地郡市長ニ差出サシムヘシ

第五條 令第二十條ニ當リ徵集延期ノ者引續其事故三ケ年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ四年目ニ至リ第二條ノ例ニ倣ヒ徵集免除届書ヲ三月一日迄ニ大隊區徵兵官ニ宛テ差出サシムヘシ

第六條 令第二十一條第二項ニ當ル者公使又ハ領事ノ證明書出願期日迄到達セサル場合ニ在テハ知事ノ證明書ヲ以テ一時代用スルコトヲ得ルニ依リ其事由ヲ記シ第五書式ノ證明書請求書ヲ縣廳ニ差出サシムヘシ

但本證明書到達差出タルトキハ郡市長之ヲ願書ニ添綴シ置クヘシ
第七條 條例第六十四條ニ依リ疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ身体ノ検査ヲ受ケ難キ者及一年
志願兵出願中ノ者ハ検査當日迄ニ第六書式ノ届書ヲ郡市長ニ差出サシムヘシ
但疾病傷痍ノ者ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘサスヘシ

第八條 徵兵適齡者及前年假決ノ者ニシテ失踪逃亡ノ者ハ検査當日迄ニ戸主又ハ親族ヨ
リ第七書式ノ届書ヲ郡市長ニ差出サシムヘシ

第九條 令第四十六條第一項第二項ニ當ル者ハ三日以内ニ其事由ヲ記載シ第八書式ノ届
書ヲ本籍ノ市町村長ニ差出サシムヘシ

第二章 町村長事務

第十條 條例第二十三條並細則第一條ニ依リ令第二十五條ノ届書ヲ戸籍簿ニ照較シ壯丁
名簿ヲ作り二月十五日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

第十一條 第九條ノ届書ヲ受ケタルトキハ前條ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り郡長ニ差出ス
ヘシ

第十二條 令第二十五條ノ届出期限後條例第七十一條ニ當ル者アルトキハ細則第三十二
條ニ依リ戸籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り郡長ニ差出スヘシ

第十三條 第十條乃至第十二條壯丁名簿ハ別ニ一本ヲ作り抽籤後ニ至リ現役兵種ヲ豫備
徵兵上徵集延期徵集猶豫徵集免除兵役免除ニ區別編綴シテ役場ニ備置キ徵集免除兵役
免除ノ外ハ異動アル毎ニ加除スヘシ

第十四條 令第七條及第二十五條但書ニ當ル者ハ細則第二條ニ依リ第九書式ノ人名書ヲ
作り壯丁名簿ニ添付スヘシ

第十五條 令第二十八條ニ當ル者處分濟有罪無検査ヲ受クヘキ者アルトキハ其宣告書寫
ヲ郡長ニ差出スヘシ

第十六條 令第二十條ニ當ル者ノ徵集延期願書ハ其事實ヲ調査シ戸籍明細書及第十書式
ノ調査書ヲ添付シ郡長ニ差出スヘシ

第十七條 細則第五條ニ依リ町村吏員壯丁ヲ引纏メ徵兵署又ハ検査所ニ出頭ノトキハ受
檢人名簿ヲ作り事故不參ノ者ハ其事由ヲ頭書ニ記載シ差出スヘシ

第十八條 細則第八條ニ依リ現役志願ノ者アルトキハ検査前ニ第十一書式其一其二ニ倣
ヒ家族ノ承認書ヲ添ヘ願書ヲ差出サセ第十二書式ノ身元調ヲ添付シ郡長ニ差出スヘシ

第十九條 壯丁名簿ニ異動ヲ生シタル者若クハ他ノ市町村ヨリ入籍シタル者アルトキハ
細則第二十八條ニ依リ名簿進達後検査前ハ郡長ニ検査後抽籤前ニ係ルモノハ郡長ヲ經
テ旅管徵兵官縣廳書記官(以下旅管徵ニ報告スヘシ其入籍者検査前ニ係ルモノハ戸籍
ニ基キ壯丁名簿ヲ作り添付スヘシ

第二十條 令第十八條第十九條第二十條第二十一條ニ當リ徵集延期若シハ徵集猶豫中名
簿ニ關スル異動ヲ生スル者アルトキハ細則第三條ニ依リ郡長ニ報告スヘシ

第二十一條 令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延

徵兵

期又ハ徵集猶豫中異動ヲ生スル者アルトキハ郡長ニ報告スヘシ
 第二十二條 前條ノ徵集延期徵集猶豫中ノ者他ノ徵募區ニ轉籍ニ係ルモノハ戶籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り報告書ニ添付スヘシ
 第二十三條 失踪逃亡其他ノ事故ニ依リ翌年回シト爲リタル者他ノ徵募區ニ轉籍スルトキハ郡長ニ報告スヘシ

第三章 郡市長事務

第二十四條 郡長ハ町村長ヨリ差出シタル壯丁名簿ヲ條例第二十三條ニ依リ點檢ノ後之ヲ一徵募區ニ取纏メ前年假決ノ諸名簿共ニ大隊區徵兵署ニ提出スヘシ
 第二十五條 市長ハ條例第二十三條並細則第一條ニ依リ令第二十五條ノ屆書ヲ戶籍簿ニ照較シ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ大隊區徵兵署ニ提出スヘシ
 第二十六條 市長ハ第九條ノ屆出ヲ受ケタルトキハ前條ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り大隊區徵兵署ニ提出スヘシ
 第二十七條 市長ハ令第二十五條ノ屆出期限後條例第七十一條ニ當ル者アルトキハ細則第三十二條ニ依リ戶籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り大隊區徵兵署ニ提出スヘシ
 第二十八條 市長ハ令第七條及第廿五條但書ニ當ル者ハ細則第二條ニ依リ第十書式ノ人名書ヲ作り壯丁名簿ニ添付スヘシ
 第二十九條 市長ハ令第二十八條ニ當ル者處分濟^{有罪無罪}檢査ヲ受クヘキ者アルトキハ其宣告書寫ヲ大隊區徵兵署ニ提出スヘシ若シ宣告書寫得難キトキハ通知書寫ヲ提出スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ差出シタル宣告書寫及通知書寫點檢ノ後大隊區徵兵署ニ提出スヘシ
 第三十條 市長ハ令第二十條ニ當ル者ノ徵集延期願書ハ事實ヲ調査シ戶籍明細書及第十書式ノ調査書ヲ添付スヘシ
 第三十一條 令第二十條ニ當ル徵集延期願ハ條例第二十八條ニ依リ事實審覈ノ任ニ當ルヲ以テ主任郡市書記ヲシテ實地ニ就キ調査ヲ爲サシメ其狀況書ヲ作り大隊區徵兵署ニ提出スヘシ

第三十二條 細則第三條ニ依リ壯丁名簿及前年假決ノ諸名簿ヲ調査シ徵兵人員報告書ヲ作り二月盡日迄ニ大隊區司令官ニ發送スヘシ
 但發送後人員増減ヲ生シタルトキハ徵兵署開設ノ際報告スヘシ
 第三十三條 大隊區司令官ヨリ徵兵署及檢査所巡回日割報知アリタルトキハ條例第二十五條ニ依リ檢査ノ日時徵兵署及檢査所ノ場所ヲ其管内ニ告示シ仍ホ細則第九條ニ依リ出頭ノ日割ヲ定メ壯丁ニ達スヘシ
 第三十四條 前條檢査日割定メタル後第十三書式ノ日割表ヲ作り大隊區徵兵署ニ提出スヘシ
 第三十五條 市長ハ細則第五條ニ依リ市吏員ヲシテ壯丁ヲ引纏メ徵兵署ニ出頭セシムルトキハ受檢人名簿ヲ作り事故不參ノ者ハ其事由ヲ頭書ニ記載シ差出サシムヘシ
 第三十六條 細則第六條ニ依リ身體檢査ヲ行フトキハ呼出シニ用ユル壯丁並前年假決連

名簿ヲ作り之ニ兵種及次年回ニ及ヒ不合格其他事故不參等朱書シ郡市役所ニ備置シ
 第三十七條 市長ハ細則第八條ニ依リ現役志願ノ者アルトキハ檢査前ニ第九書式其一其
 二ニ倣ヒ家族ノ承認書ヲ添ヘ願書差出サセ第十書式ニ依リ豫メ身元ヲ調査シ大隊區徵
 兵署ニ提出スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ差出シタル書類ヲ調査シ大隊區徵兵署ニ提出スヘシ
 第三十八條 細則第十三條ニ依リ作りタル徵集猶豫名簿中一年志願兵入隊ノ届アリタル
 トキハ假決ノ區畫ニ年月日入營ト朱書シ置クヘシ

第三十九條 條例第六十三條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ徵集ニ應セントアル者及細則第四
 十五條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ身體檢査ヲ受ケントスル者ノ願ヲ許可シタルトキハ其
 壯丁名簿ヲ添ヘ本人寄留地ノ島市郡市長ニ通知シ併セテ檢査ノ結果報告方ヲ照會スヘ
 シ

條例第七十條ニ依リ願ヲ許可シタル者モ亦前項ノ例ニ準スヘシ
 第四十條 條例第六十三條第四項ニ依リ寄留地應徵已チ得サル事故ノ爲メ三月一日ヲ過
 キ願出ツル者アルトキハ寄留地島司郡市長ニ協議ノ上許否スヘシ

第四十一條 市長ハ檢査名簿進達後抽籤前名簿ニ關スル異動ヲ生シタル者若シハ他ノ市
 町村ヨリ入籍シタル者アルトキハ細則第二十八條ニ依リ旅管徵兵官ニ報告スヘシ
 第四十二條 令第十八條第十九條第二十條第二十一條ニ當リ徵集延期若シハ徵集猶豫中

名簿ニ關スル異動ヲ生スル者アルトキハ細則第三十條ニ依リ其名簿ニ訂正ヲ加フヘシ
 他ノ徵募區ニ轉籍スル者ハ其名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ

第四十三條 他ノ徵募區ヨリ寄留徵集ニ應シタル者ニシテ徵集延期若シハ徵集猶豫トナ
 リタル者ハ細則第三十一條ニ依リ其名簿ヲ添ヘ本籍ノ島司郡市長ニ通知スヘシ其他ノ
 事故ニ依リ徵集ニ應セサル者亦同シ

他ノ徵募區ヨリ寄留シ細則第四十五條ニ依リ許可ヲ得タル者ノ身體檢査ヲ爲シタルト
 キハ本籍ノ島司郡市長ニ其壯丁名簿ヲ回送スヘシ
 第四十四條 令第四十六條及條例第七十一條ニ當ル者檢査後ト雖トモ他ノ徵募區檢査期
 日内ニ係ルモノハ身體檢査ヲ受ケサスヘシ

第四十五條 令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條第四十一條ニ當リ徵集延期
 若シハ徵集猶豫中ノ者ハ従前ノ徵集猶豫名簿ヲ備置キ異動ヲ生スル者アルトキハ訂正
 ヲ加フヘシ

第四十六條 前條徵集延期若シハ徵集猶豫中ノ者他ノ徵募區ニ轉籍スルトキハ市長ハ戶
 籍ニ基キ
 壯丁名簿 其名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ

第四十七條 失踪逃亡其他ノ事故ニ依リ翌年回シト爲リタル者ニテ他ノ徵募區ニ轉籍ス
 ル者アルトキハ徵集延期名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ
 第四十八條 壯丁名簿受領後ハ調製後抽籤前徵募區外ニ轉籍スル者アルトキハ細則第二
 十九條ニ依リ壯丁名簿若シハ檢査名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司郡市長通知スヘシ

但名簿旅管徵兵官ニ進達後ニ係ルトキハ返附方ヲ請求スヘシ

第四十九條 他ノ徵募區ヨリ検査後抽籤前ノ者入籍シタルトキハ検査名簿ヲ添へ旅管徵兵官官ニ報告スヘシ

但抽籤後ニ係ルトキハ細則第二十九條ニ依リ次年ニ於テ處分スヘシ

第五十條 細則第二十條ノ籤札ハ豫メ籤箱ニ入ル、ニ及ハス兵種ヲ分チ紙袋ニ入レ封シ置抽籤ニ先チ旅管徵兵官旅管徵兵參事員及大隊區徵兵官ノ面前ニ於テ披封籤箱ニ入抽籤スヘシ

第五十一條 細則第二十二條ノ籤丁名簿ハ美濃紙六ツ切ニシテ郡市町村大字ヲ姓名ノ肩書ニ記載スヘシ

第四章 雜事

第五十二條 條例第十一條並細則第十五條ニ依リ大隊區徵兵參事員其當否ヲ審議センカ爲メ時宜ニ依リ事實ノ調査ヲ要シ出張スルトキ半數ハ必ス検査所ニ立會セシムヘシ
前項ノ出張ハ徵兵官ニ届出サシムヘシ

第五十三條 細則第十七條ニ依リ壯丁ノ家ニ就キ検査スルトキハ大隊區徵兵參事員郡市書記各一名町村長臨場セシムヘシ

第五十四條 大隊區徵兵署開設中ハ郡市吏員若干名ヲシテ事務員ノ庶務ヲ補助セシムヘシ

第五十五條 郡長ハ徵兵署ノ變更又ハ徵兵検査所ノ新設若クハ廢止ヲ要スルトキハ其簡

所ヲ大隊區司令部へ通知ス

第五十六條 大隊區徵兵署及検査所ノ標札ハ左ノ如ク記載スヘシ

山形大隊區地名又郡名地名徵兵署(検査所)

第五十七條 検査所へ壯丁出頭ノトキハ検査所ト扣所トヲ區別スヘシ

第五十八條 市町村長ハ左ノ箇條ヲ豫メ壯丁ニ示シ置クヘシ

- 一 検査中ハ最モ靜肅ニスヘシ
- 二 検査前日又ハ當日ニ沐浴ヲ爲シ身体ヲ清潔ナラシメ結髮者ハ之ヲ解キ清潔ニ洗濯クヘシ
- 三 大隊區徵兵官大隊區徵兵參事員又ハ事務員ヨリ尋問スルトコトアルトキハ明瞭ニ應答スヘシ
- 四 大隊區徵兵官大隊區徵兵參事員又ハ事務員ニ對シ自ラ述ヘント欲スルコトハ之ヲ述ルヲ得

第五十九條 検査済ノ後市町村吏員ヲシテ合格不合格ノ旨ヲ壯丁へ示サスヘシ

第六十條 令第二十一條ノ願ヲ許可セサル者アルトキハ呼出シ身体ノ検査ヲ受ケサシムヘシ

第六十一條 條例第六十二條但書ニ依リ届出ノ者モ身体ノ検査ヲ受ケサシムヘシ

第六十二條 細則第十七條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ検査ヲ受クル者アルトキハ町村吏員

ニ壯丁ヲ引卒セシメ郡市書記(事務員)ヲ出張セシムヘシ

第六十三條 條例第二十九條並細則第十三條ニ依リ作ル徵集延期及徵集猶豫名簿ハ冊尾ニ大隊區徵兵官署名押印スルモノトス

第六十四條 各徵募區徵兵署閉鎖ノ際條例第三十一條ニ依リ諸名簿諸書類ヲ取纏メ及同條但書ノ徵集延期徵集猶豫ニ屬シタル者ノ人員報告表ヲ作り之ニ目錄ヲ添ヘ旅管徵兵官ニ發送スルモノトス檢査名簿編綴ノ區分ハ左ノ如シ

兵種甲第二十八條ニ當ル部トス年度順ニ綴ルモノ

同 甲第二十一條ニ當ル部トス以下皆同シ

同 甲現役志願ノ部

同 抽籤ノ部

同 乙第二十八條ニ當ル部

同 乙第二十一條ニ當ル部

同 乙抽籤ノ部

徵集免除ノ部 短尺疾病家族自活シ能ハサル者ヲ區別シテ綴ルヘシ

兵役免除疾病ノ部

同 短尺ノ部

同 畸形ノ部

第六十五條 條例第四十四條ニ依リ大隊區徵兵官ノ裁決ヲ不服トシ訴願ノ届出ヲ爲シタル者ハ所屬郡市長ハ右ニ關スル書類ヲ旅管徵兵官ニ送付スヘシ

第六十六條 條例第四十五條ノ訴願保證人ハ合格者及新兵ニ限ラサルモノトス若同徵募區内ニ保證人三名ナキトキハ三名ニテ注妨ケナシト雖モ其理由ヲ記載セシムヘシ

第六十七條 抽籤物代人ハ條例第三十四條並細則第九條ニ依リ各徵募區ニ二名若クハ三名壯丁ニ限ラス住所姓名ヲ選ハンメ其人名ヲ旅管徵兵官ニ報告スルモノトス

第六十八條 大隊區徵兵官ハ旅管徵兵署開設中出頭スルモノトス

第五章 抽籤後取扱

第六十九條 新兵入營前ニ際シ父母ノ疾病危篤ハ醫師ノ診斷書死亡ハ死亡證書寫ヲ添ヘ

第十四書式ニ倣ヒ十四日以内ノ入營延期願書ヲ大隊區司令官ニ差出サシムヘシ

前項願書差出シタルトキ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ第一項出願ノ者ハ指令ヲ得ル迄出發見合サスヘシ

第七十條 新兵入營前令第二十條ニ當ルヘキ事故生シタル者ハ條例第五十三條ニ依リ第二書式其一其二ニ倣ヒ同徵募區内新兵ノ戶主二名ノ保證書ヲ添ヘ徵集延期願書ニ

係ルモノハ醫師 町村長ハ郡 大隊區司令官ニ回送スヘシ

ノ診斷書ヲ添ヘ差出サセ 役所ヲ經テ

郡市長ハ其事實ヲ審覈シ 郡ニ在テハ町村長ヨリ戶籍明細書 狀況書ヲ作り願書ト共ニ大

隊區司令官ニ送付スヘシ

入營期日ニ至ルモ前項願書ニ指令アルマテ出發見合サスヘシ

第七十一條 前條願書ニ依リ徵集延期證書附與セラレタルトキハ市町村長ハ新兵證書ヲ引

揚ケ町村長ハ郡大隊區司令官ニ回送スヘシ

第七十二條 新兵入營前及豫備徵員心得ハ新兵證書並ニ豫備徵員證書裏面ニ記載アル個條ニ違背セサル様市町村長ニ於テ示シ置クヘシ

第七十三條 條例第五十四條及第五十八條ニ當ル轉籍者 養子入夫父ハ分ノ屈書ニハ市町村長與書證印ノ上其證書ヲ添ヘ町村長ハ郡 監視區長ニ回送スヘシ 家等モ含有ス 前項徵兵令施行セサル地ニ轉籍ノ者ハ抽籤後ト雖トモ徵集セサルニ依リ再ヒ證書下附ナキ旨本人ニ示シ置クヘシ

第七十四條 新兵入營前及豫備徵員ノ名簿ニ關スル異動 轉入籍ヲ生シタル者アルトキハ細則第二十八條ニ依リ市町村長 町村長ハ郡 役所ヲ經テヨリ監視區長ニ通知スヘシ其異動ハ證書ノ訂正ニ關スルトキハ證書ヲ引揚ケ通知書ニ添付スヘシ

但異動通知ノ項目大凡左ノ如シ 豫備徵員ノ異動ハ 第一 戶主ノ變更 第二 身分ノ變更 第三 氏名ノ變更 第四 重罪輕罪 刑名及刑 第五 失踪逃亡歸家死亡 第六 結婚離婚妻ノ死亡及子ノ生死 第七 期ヲ記ス 第七 祖父母兄弟姊妹ノ異動 入籍ニ係ル兄弟姊妹 第七十五條 市町村長ハ抽籤後三十日以内新兵ノ戶籍寫ヲ (町村長ハ郡) 大隊區司令部ニ送付スヘシ (役所ヲ經テ)

但入營前轉籍シタル者及豫備徵員徵集ノトキハ本文ノ手續ヲナスヘシ 第七十六條 新兵入營ノ節召集地迄ハ單行セシメ新兵證書ハ遺失セサル様携帶セシムヘシ

第七十七條 條例第六十五條ニ依リ疾病傷痍或ハ犯罪等ニテ期限ニ入營シ難キ旨届出タル者其事故止ミダルトキモ同様届出サセ更ニ大隊區司令部ヨリ入營ノ達アリタル後出發セシムヘシ

第七十八條 前條期限ニ入營セサル者令第二十七條ニ依リ翌年回シト爲リタルトキハ翌年身体檢査ヲ受ケサスヘシ

第七十九條 細則第四十四條ニ依リ更ニ證書ノ渡方ヲ請求スルモノアルトキ新兵證書豫備徵員證書ハ大隊區司令部ニ兵役免除證書ハ縣廳ニ請求スヘシ 但新兵入營時日切迫ノ場合ニ在テハ本人ヨリ引卒官ニ申出サセ若シ單行者ナルトキハ入營ノ際其隊ニ申出サスヘシ

第八十條 現役中令第二十條ニ當ルヘキ事故生シタル者アルトキハ條例第六十八條ニ依リ其家族ヨリ現役免除豫備役編入願書ヲ差出サシムヘシ其取扱順序ハ總テ第七十條徵集延期ニ同シ 但出願者ノ肩書ニ某父母兄弟姊妹等ヲ記シ保證人ハ現役兵ノ戶主トシ亦近衛及海軍兵ニ在テハ願書ニ通差出サシムヘシ (以下略ス)

○達三第三十五號 明治二十五年 五月三日

徵兵參事員ノ儀ハ徵兵事務條例第十三條ニ依リ縣參事會員ニシテ郡參事會員ヲ兼スル者

ハ旅管徴兵參事員ニ充ツルヲ以テ右ノ場合ニ係ル大隊區徴兵參事員ノ欠員ハ郡制第四十
 八條ニ依リ補充員ノ内ヨリ之ヲ補フヘシ
 但本文取計ノ上ハ其住所氏名ヲ縣廳ニ届出ヘシ
 ○告示第三十七號 明治廿五年 五月十八日
 陸軍召集旅費支出規程第八條ニ依リ郡役所ノ外旅費支給所同區域左ノ通り定ム

郡役所ノ外召集旅費支給所同區域表

郡名	旅費支給所	區域
南村山郡	山形所	金井村、本澤村、柏倉門傳村、南沼原村、村木澤村、飯塚村、椹澤村、瀧山村、東澤村
西村山郡	谷地所	谷地村、北谷地村、溝延村、三泉村、西里村、醍醐村、白岩村、西山村、川土居村、本道寺村
北村山郡	高崎所	高崎村、山口村、田麥野村、大富村、小田島村、長瀬村、東根村、東郷村
最上郡	尾花澤所	尾花澤村、福原村、龜井田村、宮澤村、大石田村、玉野村、常磐村
	金山所	金山村、及位村、安樂城村、眞室川村
	東小國所	東小國村、西小國村
飽海郡	松嶺所	松嶺町、上郷村、内郷村、田澤村、北俣村、東平田村、南平田村

郡名	旅費支給所	區域
西田川郡	遊佐所	本楯村、一條村、觀音寺村、大澤村、日向村、南遊佐村、稻田村、西遊佐村、遊佐村、藏岡村、川行村、高瀬村、吹浦村
	袖浦所	袖浦村
	豐浦所	豐浦村、温海村、福榮村、念珠關村
	山添所	山添村、大泉村、本郷村、黄金村
	山添所	山添村、大泉村、本郷村、黄金村
	余目所	築村、廣野村、新堀村、余目村、八榮里村、常萬村、大和村、十六合村
	中川所	中川村、赤湯村、吉野村、金山村
	荒砥所	荒砥町、鮎貝村、蠶桑村、東根村、白鷹村
	小國所	小國本村、津川村、北小國村、南小國村
	玉庭所	玉庭村、中津川村

○訓令第五十二號

明治二十五年 五月十八日

郡市役所

陸軍召集旅費支出規程第十二條ニ依リ演習召集ノ旅費金ヲ支給スル日時ハ郡ニ在テハ郡
 長ヨリ之ヲ各自ニ送シ又市ニ在テハ市長ヨリ直稅分署長ニ協議ノ上之ヲ定メ各自ニ送ス

○訓令第五十三號 明治二十五年五月十八日

郡市役所

明治廿三年七月訓令第五十號陸軍省訓令甲第十三號第二項中「師團長又ハ大隊區司令官」ヲ「島司郡長北海道函館又ハ市長東京京都大坂」ニ改メ末文ニ「但市長ヨリハ其住所氏名ヲ直稅分署長ニ通報セシム可シ」ノ但書追加相成候條此旨心得ヘシ
○訓令第五十七號 明治二十五年五月廿一日

郡市役所
町村役場

明治廿四年四月訓令第六十七號陸軍召集事務取扱細則別冊ノ通改正ス

陸軍召集事務取扱細則

第一條 本則ハ陸軍召集條例第二十四條ニ據リ郡市町村長ニ於テ執行スヘキ事項ヲ規定スルモノトス

第二條 郡長ハ町村役場ノ數ニ應シ第一號書式ニ據リ達書ヲ調製シ狀袋ニ役場名ヲ記シ直ニ發シ得ル様準備シ置クヘシ

第三條 郡長ハ豫備後備將校同相當官及下士ノ召集令狀受領證書ヲ第二號書式ニ依リ調製シ一人毎ニ狀袋ニ入レ直ニ發シ得ル様準備シ置クヘシ

第四條 郡長ハ條例第二十九條ニ據リ同第二條第一項乃至第四項ノ召集達ヲ受ケタルトキハ第二條ノ達書ニ年月日時ヲ記入シ條例第三十條ニ據リ豫定ノ脚夫ヲ以テ速ニ町村

長ニ達シ又同第二十七條ニ據リ監視區長ヨリ豫備後備將校同相當官及下士ノ召集令狀ヲ受領シタルトキハ第三條ノ受領證書ニ年月日時ヲ記入シテ該令狀ニ添付シ豫定ノ脚夫ヲ以テ速ニ各自ニ配達スヘシ

第五條 市長ハ歸休兵並ニ豫備後備將校同相當官及下士兵員ノ召集令狀受領證書ヲ第二號書式ニ依リ調製シ兵員ノ分ハ召

第六條 市長ハ條例第二十九條ニ據リ同第二條第一項乃至第四項ノ召集達ヲ受ケタルトキハ同第五十二條ニ依リ豫定ノ脚夫ヲ以テ速ニ各自ニ配達スヘシ

第七條 町村長ハ歸休兵並ニ豫備後備兵員ノ召集令狀受領證書ヲ第二號書式ニ依リ調製シ召集令狀ト共ニ一人毎ニ狀袋ニ入レ直ニ發シ得ル様準備シ置クヘシ

第八條 町村長ハ條例第三十條ニ據リ召集ノ達ヲ受ケタルトキハ同第五十二條ニ據リ豫定ノ脚夫ヲ以テ速ニ各自ニ配達スヘシ

第九條 歸休兵並ニ豫備後備將校同相當官及下士兵員身上ニ異動ヲ生シタルトキハ第二號書式召集令狀ノ受領證書ニ訂正又ハ書換ヲ爲シ置ヘシ

徵兵

第十條 召集令狀ノ受領證書ハ本人受領ノトキ着時ヲ記入捺印セシメ後證トナスヘシ
 第十一條 條例第四十九條ノ警報ハ第三號書式ニ據リ郡市役所及町村役場ニ於テ豫メ調製シ置キ召集發令ニ從ヒ年月日時ヲ記入シ直ニ揭示場ニ公示スヘシ
 但揭示場外人民輻輳ノ地ニハ更ニ公衆ノ注目スヘキ場所ヲ豫メ撰置キ揭示スヘシ
 第十二條 郡市役所及町村役場ニ於テハ召集事務執行ノ爲メ樞要ノ事項ヲ摘載シ事務所又ハ其他便宜ノ所ニ掲ケ置クヘシ
 第十三條 歸休兵並ニ豫備後備將校同相當官及下士兵員召集ノ命アルニ際シ他ニ寄留又ハ旅行中ノ者アルトキハ之ヲ通報スヘキモノニ召集令狀ヲ附與シ受領證書ニ通報人ノ記名捺印セシムヘシ
 明治二十三年陸軍省訓令甲第十三號ニ依リ寄留地ヨリ直ニ召集ニ應センコトヲ出願許可ヲ得タルモノ亦同シ
 第十四條 條例第二十八條第二項ノ軍用旅舎ハ警察官ノ主管ト雖トモ枝道ニ在テハ町村役場ニ於テ便宜ノ場所ニ旅舎ヲ設ケ宿泊料一日一人ニ付金拾五錢以內ヲ以テ豫メ舍主ト規約ヲ爲シ召集ノ際見易キ標國旗又ハ高張若クハ提燈等ニ條例第二樣式ノ徽章ヲ附シ掲ケシムヘシ
 第十五條 歸休兵並ニ豫備後備將校同相當官及下士兵員召集ニ際シ疾病又ハ川支其他ノ事故ニテ滞留シ證書ヲ請フモノアルトキハ該地ノ市町村長ニ於テ第四號書式(甲乙)ニ據リ證書ヲ付與スヘシ

前項滞留ノ爲メ旅費ノ欠乏ヲ訴フルトキハ市町村長ニ於テ事實ヲ調査シ日數ニ應シ滞在日當准士官以上三拾五錢 下士以下貳拾貳錢 ナ一時繰替支給シ第五號書式ニ據リ證書ヲ徵シ置キ該證書ヲ請求書ニ添付町村長ハ郡縣廳ニ差出スヘシ
 第十六條 歸休兵並ニ豫備後備兵員條例第四十三條第五十九條第七十五條第八十九條ニ該當シ召集ニ應シ難ク召集令狀ヲ返付シタルモノ遂ニ解散ノ時期ニ至ルモ其事故止マサルトキハ召集令狀ヲ町村長ハ郡縣廳ニ返付スヘシ
 第十七條 條例第四十五條第六十一條第七十七條第九十一條ニ據リ犯罪又ハ失踪逃亡等ノ事故止ミ發程スルモノアルトキハ市町村長ハ條例第一樣式其一裏面欄外掲載ノ例ニ據リ召集令狀裏面欄外ニ事由ヲ記シ捺印スヘシ
 但本人發程シタルトキハ所轄警察署又ハ分署或ハ巡查駐在所ニ通知スヘシ
 第十八條 市町村長ハ召集令狀各自ニ配達後應徵者不應徵者ヲ取調ヘ三日以內ニ第六號書式ニ據リ召集人員表ヲ調製シ市長ハ縣廳ニ町村長ハ郡役所ニ差出シ郡役所ニ於テハ一郡ノ表ヲ製シ速ニ縣廳ニ差出スヘシ
 第十九條 條例第四百十八條ニ據リ郡市役所町村役場ニ備付ノ歸休兵並ニ豫備後備將校同相當官及下士兵員名簿ハ左ノ如ク類別シ各召集地ニ區分シ第七號書式(甲乙)ニ據リ調製シ各自身上異動アル毎ニ訂正シ當ニ明瞭ナラシムヘシ

某地召集ノ部

- 一 豫備將校下士第一充員名簿
- 某地召集ノ部
- 一 近衛豫備將校下士充員名簿
- 某地召集ノ部
- 一 後備將校下士召集名簿
- 一 近衛後備將校下士召集名簿
- 某地召集ノ部
- 一 歸休兵第一充員名簿
- 某地召集ノ部
- 一 豫備兵員第一充員名簿
- 某地召集ノ部
- 一 近衛歸休兵充員名簿
- 一 近衛豫備兵員充員名簿
- 某地召集ノ部
- 一 後備兵員召集名簿
- 一 近衛後備兵員召集名簿
- 第二十條 前條ノ名簿ハ毎年一回簡閱點呼召集前ニ於テ郡役所備付ノ名簿ト町村役場備付ノ名簿ト照合ヲナスヘシ
- 第二十一條 條例第五百五十四條但書ニ據リ市町村長ニ於テ召集令狀中朱字ニテ訂正ヲ加フヘキモノハ歸休兵ヨリ豫備ニ移リ又ハ其所轄内ニ於テ各自身上異動ヲ生シタルモノニ限ル

左ノ事項ニ當ル異動ハ召集令狀ニ屆書ヲ要スルモノハ屆書ト共 監視區長ニ送附スヘシ

- 一 所轄外ニ係ル異動ノモノ
- 一 豫備ヨリ後備ニ移ルモノ
- 一 後備ヨリ國民兵籍ニ移ルモノ

第二十二條 郡市長ハ前條召集令狀裏面ニ記載ノ出納官吏轉職其他異動アルトキハ紙片ヲ貼付シテ訂正爲サシムヘシ

第二十三條 郡役所ニ於テ條例第百六十四條ニ據リ所用ノ脚夫ハ速度一時間一里半ヲ基準トシ一町村又ハ二三町村受持ノ區畫ヲ爲シ豫メ其人員ヲ定メ置クヘシ

第二十四條 市役所ニ於テ條例第百六十四條第百六十七條町村役場ニ於テ同第百六十七條ニ據リ所用ノ脚夫ハ速度一時間一里半ヲ基準トシ概テ二時間ヲ以テ普ク達シ得ル様豫メ其人員ヲ定メ置クヘシ

第二十五條 郡市役所町村役場ニ於テ召集達ヲ受ケタルヨリ脚夫ヲ發スルマテ事務整理ノ爲メニ要スル時間ハ概テ二時間以内トス

第一號書式 (用紙半紙調紙)

町(村)役場

第一(第二)充員(後備將校)(後備下士)(後備兵員)(近衛充員)(近衛後備將校)(近衛後備下士)(近衛後備兵員)召集ヲ達セラレ候條成規ノ通取計フヘシ

明治年月日時分 郡長 氏 名印

近衛兵ノ召集達發令ノ翌日ハ及ヒタルトキハ召集ノ上(某日發令)ト記載スヘシ

第二號書式

(用紙)縦凡四寸横凡三寸

召集地	受領證書發	時午前	時	分着	時午	時	分
第一(第二)(何々)		召集令狀 一					
何		右正ニ受取候也					
明治年月日		何郡(市)(町)村					
豫備(後備)		官氏 名印					
兵員ハ		歸休兵(豫備)(後備)					
何兵		氏 名印					
寄留旅行等ノモノハ		右通報人父(兄)(親族)					
氏		名印					

近衛將校下士兵員ハ近衛ノ二字ヲ冠スヘシ

第三號書式

(用紙西ノ内堅四枚續キ)

警報(朱書)

第二師團第一充員召集相成候事

明治年月日時分着報

第二充員召集ノ時ハ

第二師團第二充員召集相成候事

後備將校同相當官召集ノ時ハ

第二師團後備將校召集相成候事

後備下士召集ノ時ハ

第二師團後備下士召集相成候事

後備兵員召集ノ時ハ

第二師團後備兵員召集相成候事

近衛充員召集ノ時ハ

近衛充員召集相成候事

近衛後備將校同相當官召集ノ時ハ

近衛後備將校召集相成候事

近衛後備下士召集ノ時ハ

近衛後備下士召集相成候事

近衛後備兵員召集ノ時ハ

郡(市)役所町(村)役場

近衛後備兵員召集相成候事

第四號書式甲 (用紙半紙罫紙)

證認書

何ノ某

右ハ何月何日充員(後備)(近衛充員)(近衛後備)召集途中當市ニ於テ何病ニ罹リ醫師診斷書ノ通リニ付何日間滯留候儀相違無之候也

明治年月日

山形縣何市町(村)長 氏 名印

第四號書式乙 (用紙半紙罫紙)

何ノ某

右ハ何月何日充員(後備)(近衛充員)(近衛後備)召集途中何地何川出水橋梁流失(積雪)(何々)ニ付何日間滯留候儀相違無之候也

明治年月日

山形縣何市町(村)長 氏 名印

第五號書式 (用紙白半紙)

證

一金何圓

但何町(村)大字何々ニ於テ疾病(川支)ニテ何月何日ヨリ何日迄滞在ニ付日當金何程何日分繰替渡ノ分
右正ニ受領候也

明治年月日

市(町)村長氏名殿

何ノ某印

何縣何郡(市)町(村)大字何々
豫備後備官(歸休兵)(豫備)(後備)何兵

第六號書式 (用紙半紙罫紙)

明治何年何月召集人員表

何郡(市)役所
何町(村)役場

召集地	町	村	應徵者	不 應 徵 者	計
	何	何	何	何	
何所	何	何	何	何	計
	何	何	何	何	
同	同				
計	何ヶ	何	何	何	何

明治何年何月何日

何縣(市)(郡)

出納官吏 氏 名印

一本書式ハ戰時事變若シクハ臨時演習召集等ノトキ用ユルモノトス

一何々ノ事故云々及二線ハ朱書トス而シテ消印ハ出納官吏ニ於テ捺印スル

モノトス

一用紙半紙

乙

明治何年何月何日定時演習召集旅費受領證書

住所	召集地	召集地ニ至ル里程	旅費金	官氏名
何縣何郡市(町)(村)	仙臺	二十五里	金三圓七拾五錢	歩兵大尉 何某印
同	同	二十里	金三圓	砲兵大尉 何某印
同	同	三十四里	金壹圓四拾錢	何兵一等軍曹 何某印

何々ノ事故ニテ不應

同	同	同	十六里	金八拾錢	同上等兵 何某印
同	同	同	二十七里	壹圓貳拾錢	同二等卒 何某印
同	同	同	二十二里	金壹圓	同二等卒 何某印
計				金拾壹圓拾五錢	

現支給高金九圓九拾五錢

右相違無之候也

何縣(市)(郡)

出納官吏 氏 名印

年月日

一何々ノ事故云々及二線ハ朱書トス而シテ消印ハ出納官吏ニ於テ捺印スルモノトス

一用紙半紙

第二章 徵發

○訓令第四十三號 明治廿五年 四月廿一日

徵發事務取扱細則別冊ノ通告ム

但明治十八年(九月)丙第二百廿三號廿三年(十一月)達三第五十一號達ハ廢ス

徵發事務取扱細則

第一條 本則ハ徵發令並ニ徵發事務條例ニ基キ郡市町村長ニ於テ執行スヘキ事項ヲ規定スル者トス

第二條 郡市町村長ハ令第三十條條例第四十條ニ據リ各徵募區内ニ係ル徵發物件輸送費賦課方法ヲ豫メ定メ置クヘシ

第三條 市町村長ハ條例第三十五條ニ據リ宿舍ノ徵發ヲ賦課スヘキ公有家屋社寺等ニ係ル倉飼供給準備ハ豫メ定メ置クヘシ

第四條 郡長ハ令第十二條第一項第二項(乘馬ヲ)第三項ノ徵發書ヲ受ケタルトキハ速ニ第一號書式ニ據リ便宜ノ町村ニ賦課シ指定ノ場所ニ差出スヘシ

第五條 市町村長ハ令第十二條第一項第二項(乘馬ヲ)第五項(飲水ヲ)第六項第九項第十條第一項(造船所工作)第三項ノ徵發書ヲ受ケタルトキハ速カニ第二號書式ニ據リ營業者又ハ所有主ニ賦課シ指定ノ場所ニ差出スヘシ

第六條 市町村長ハ令第十二條第三項第十三條第三項ノ徵發書ヲ受ケタルトキハ速ニ第三項書式ニ依リ各自ニ賦課シ指定ノ場所ニ差出スヘシ

第七條 市町村長ハ令第十二條第四項第五項(石炭ヲ)第七項第八項第十三條第一項(料材器具ヲ)第四項第五項ノ徵發書ヲ受ケタルトキハ速ニ第四號書式ニ據リ營業者又ハ所有主ニ賦課シ供給スヘシ

第八條 郡市町村長ハ陸海軍官憲ヨリ徵發ヲ賦課セラレタルトキハ其官憲及物件數量差出場所日時等ヲ速ニ縣廳(町村長ハ郡)ニ報告スヘシ

第九條 郡市町村長ハ令第十二條第二項(乘馬ヲ)ノ徵發物件ヲ指定ノ場所ニ差出ストキハ屬具ハ完備シアルヤ否ヤヲ調査スヘシ

第十條 郡長ハ第四條ノ徵發物件ヲ受領シタルトキハ第五項書式ニ據リ受領證書ヲ交付スヘシ

第十一條 市町村長ハ第五條(令第十二條第二項第六項ヲ除ク)ノ徵發物件ヲ受領シタルトキハ第五號書式ニ據リ受領證書ヲ交付スヘシ

第十二條 市町村長ハ令第十二條第四項宿舍ノ徵發ヲ賦課シタルトキハ其門口又ハ入口ニ間敷疊數ヲ掲記シ且條例第二十九條ニ據リ宿舍圖書ヲ製シ宿割主任官ニ差出スヘシ

第十三條 郡市長ハ條例第四十一條ニ據リ隣郡市長ト商議シ組合市町村ヲ定メタルトキハ縣廳ニ報告スヘシ

但更正廢止トモ本文ニ同シ

第十四條 郡市町村長ハ條例第五十五條第五十六條ニ據リ評價委員ヲ選舉シタルトキハ其住所(官)職(氏名等)ヲ速ニ縣廳(町村長ハ郡)ニ報告スヘシ

第十五條 市町村長ハ令第六條ニ據リ停車場長船舶會社ノ店長ニ徵發ヲ賦課セラレタルトキハ徵發ヲ行ヒタル官憲及物件運送地等ヲ速ニ縣廳(町村長ハ郡)ニ報告スヘシ

第十六條 郡市町村長ハ徵發事務執行ノ爲メ摘要ノ事項ヲ摘記シ事務所又ハ其他便宜ノ所ニ掲ケ置クヘシ

第十七條 町村長ハ條例附錄第三號一二三ノ雜形ニ據リ三年毎ニ徵發物件表ヲ製シ一月三十一日迄郡長ニ差出シ郡長ハ同表ニ據リ一郡ノ表(三號ノ一)ヲ製シ二月盡日迄縣廳ニ差出スヘシ

第十八條 市長ハ條例附錄第三號一二三ノ雜形ニ據リ三年毎ニ徵發物件表(三號ノ一)ヲ製シ二月盡日迄縣廳ニ差出スヘシ

第十九條 市町村長ハ條例附錄第四號一二三同第五號一二ノ雜形ニ據リ毎年徵發物件表ヲ製シ二月盡日迄縣廳(町村長ハ郡)ニ差出スヘシ

第二十條 市町村長ハ登簿噸數百噸以上ノ汽船ヲ管内ニ於テ新造シ若クハ買入レタルモノアルトキハ條例附錄第五號三ノ雜形ニ據リ汽船表ヲ製シ其都度縣廳(町村長ハ郡)ニ差出スヘシ

第二十一條 左ニ掲ケル市町長ハ條例附錄第七號雜形ニ據リ毎年其地前三ケ年ノ平均物價表ヲ製シ二月盡日迄縣廳(町村長ハ郡)ニ差出スヘシ

(第一號) 山形市 米澤市 酒田町 鶴岡町

町村役場

徵發書

一精米 何石
 一味噌 何貫目
 一何々 何々

右何官憲ヨリ徵用相成候條何月何日何時限リ何所へ無遲滯差出スヘシ

明治 年 月 日 郡長 氏 名 印

(第二號)

徵發書

一精米 何石
 一駄馬 何頭
 一何々 何々

右何官憲ヨリ徵用相成候條何月何日何時限リ何所へ無遲滯差出スヘシ

明治 年 月 日 市町村長 氏 名 印

(第三號)

徵發書

一人夫

徵發

一職工
一何々

右何官憲ヨリ徵用相成候條何月何日何時限リ何所へ無遲滯集合スヘシ

明治年月日 市町村長 氏名 印

何某殿

(第四號)

徵發書

一宿舍

一廐園

一何々

右何官憲ヨリ徵用相成候條何月何日何時ヨリ供給致スヘシ

明治年月日 市町村長 氏名 印

何某殿

(第五號)

受領證

一精米(味噌)

一駄馬(車輛)

一何々

何石(何貫目)

何頭(何輛)

何々

右領收候也

明治年月日

町村長何某殿

何某殿

徵發物件調査方梗概

第三號ノ一

一本表ハ一郡一市毎ニ調製シ美濃紙ヲ用ユルモノトス

市町村書 乙部上欄第一(何市)第二(何町)第三(何村)ノ三行中第一行ハ全市第二第三

行ハ町村制實施ノ際他町村ト合併セサリシモノニシテ人家ノ連接スルト散在スルト

ニ拘ハラヌ舊町村ヲ掲ケ又ハ合併シタルモ新區域内ノ人家連接セル者ヲ記載スル者

トス

同第四行町村ハ町村制實施ノ際數町村ヲ合併シテ成立シタル新町村ニシテ其區域内

ノ人家各部落ニ散在スルモノ、記載ヲ示シ即チ上段ニ新町村ヲ記入シ下段大字(舊

町村名)ヲ記載スルモノトス

第五行組合町村中第一行ハ乙部第三行ノ例ノ如ク家屋連接戸數人口最多數ノ部落ヲ

記載シ第二行ハ第四行下段第一第二行ノ例ニ倣ヒ記載スルモノトス

幅員畫 幅員ハ市町村又ハ一部落地ノ兩端末ニ在ル家屋ノ隔離ヲ概テ東西南北ノ方位

ニ從テ記シ里數ヲ以テ算スル者トス

但計ハ記セス

家屋畫 戶數ハ現在軒數ヲ掲ルモノニシテ其軒數トハ官廨寺院學校製造所水車場倉庫
廨病院ヲ除クノ外現在住居スルト否トニ拘ハラズ市町村内ニ現在スル家屋ノ棟數ヲ
云フ又家屋ノ全部若クハ幾部ヲ官署學校市役所町村役場等ニ使用スルモノモ本畫徵
算入スルモノトス

總坪數ハ家屋ノ總坪數ヲ記入ス又家屋ノ全部若クハ幾部ヲ官署學校市役所町村役場
等ニ使用スルモノモ又算入スル者トス

宿舍用坪數ハ家族起臥營業ニ必要ノ部分及官署學校市役所町村役場等ニ使用スル者
ヲ除キ計算スル者トス

人口畫 人口ハ本籍寄留ヲ問ハズ現ニ居住ノ人員ヲ掲クル者トス
人夫畫 人夫ハ年齢凡ソ十七歳以上農夫漁夫傭夫日雇人足等總テ力役ニ従事スル者ヲ
記載シ豫備役後備役及豫備徵員ヲ省除スル者トス

官廨畫 官廨ハ官署及市役所町村役場等ノ箇數ヲ記スルモノトス
倉庫畫 倉庫ハ貸庫ニ限ラズ總テ現在スル者ヲ掲クル者トス

廨畫 廨ハ別棟ナル者ヲ取調フル者トス
寺院畫 軒數ハ寺院内ニ堂庵幾棟數アルモノ之ヲ分別セス一寺院ヲ一軒トシ計算スルモ
ノトス

總坪數ハ各寺院ノ總坪數ヲ合算ス又寺院ノ全部若クハ幾部ヲ官署學校市役所町村役

場等ニ使用スルモノモ算入スルモノトス

宿舍用坪數ハ内陣及其家族ノ起臥ニ必要ノ部分及官廨學校市役所町村役場等ニ使用
スルモノヲ除キ計算スルモノトス

學校畫 學校ハ官公私立ノ別ナク總テ記載シ其軒數ハ學校内ニ教場寄留宿舍等幾棟ア
ルモノ之ヲ分別セス一學校ヲ一軒トシ計算スルモノトス

同坪數ハ各學校ノ總坪數ヲ合算スルモノトス
製造所畫 製造所ハ公立私立ノ別ナク又製造物品ノ種類如何ニ係ラズ總テ掲載スヘシ
ト雖トモ官立ニ係ル者アルトキハ官廨箇數ニ記入スルモノトス

坪數ハ器械室ヲ省除スルモノトス
水車場畫 水車場ハ精米ニ使用スルモノニシテ一日一石以上ヲ搗春スル箇數ヲ記入シ

若シ蒸氣器械ノ精米所アレハ之ヲ分記シテ肩ニ米ノ符號ヲ附スル者トス
病院畫 軒數ハ病院内ニ病室幾棟數アルモノ之ヲ分別セス一病院ヲ一軒トシ計算スル者
トス

患者數ハ其病室ニ容レ得ヘキ患者ノ人員ヲ記載スルモノトス

日本形船舶畫 五十石以上ハ日本形船舶五十石以上ヲ取調又汽船ニアラサル西洋形船

舶二十噸以上ヲ朱書列記スル者トス
解漁小廻ハ日本形船舶五十石未滿及倉庫船水田耕作船及水災豫備船ヲ算入シ又漁
船ニアラサル西洋形船舶二十噸未滿ヲ朱書列記スルモノトス

但遊船渡船用船橋ハ表上スルニ及ハス

醫師及職工書 醫師及職工ハ表式ノ順序ニ從ヒ記入ス職工ハ他ノ職工ヲ混入セス表式ニ從ヒ記載シタル職工ニ限り記入スルモノトス

但一名ニシテ兩業ヲ兼スルモノ譬ハ木挽職ニシテ柚職ヲ兼ヌルモノハ木挽職何名内何名ト記入シ柚職何名ノ内へ算入セサルモノトス又表式職工中郡市ニナキ職兼業モノハ其ナキヲ記入スルニ及ハス

符號 表中△ハ町村役場 ○ハ郵便局 ◎ハ郵便爲替局 ㊦ハ電信局 ㊧ハ電信爲替

局 ㊨ハ鐵道津站 ㊩ハ中央金庫 ㊪國道 ㊫ハ縣道 ㊬ハ里道所在地ヲ示ス符號ナルヲ以テ附記スルモノトス

第三號ノ二

市町村書 本表記載方ハ前第三號ノ一第一項第二項ノ例ニ依リ調製スルモノトス

馬匹書 乘馬ハ年齡四歲以上ニシテ若干日ノ使用ニ堪ヘ現在乘馬ニ役スル者ヲ記載ス又曾テ乘馬ニ役セシモノハ現今駕馬駄馬耕馬等ニ役スルモノト雖トモ乘馬ノ書ニ記載スルモノトス

駕馬ハ年齡四才以上身幹四尺五寸以上ニシテ若干日ノ駕馭ニ堪ヘ現在駕馬ニ役スルモノヲ記載ス又曾テ駕馬ニ役セシ者ハ除ク 現今駄馬耕馬ニ役スルモノト雖トモ駕馬ノ書ニ記載スルモノトス

駄馬ハ凡ソ三十貫目以上ヲ負擔シ若干日ノ勞働ニ堪ヘ現在駄馬ニ役セシモノ 現在乘馬駕馬

ヲ除ク 現今耕馬ニ役スルモノト雖トモ駄馬ノ書ニ記載スル者トス

耕馬ハ年齡四才以上ニシテ若干日ノ勞働ニ堪ヘ現在耕馬ニ役スル者 現在乘馬駕馬者ヲ記載スルモノトス

乘馬駕馬駄馬耕馬ノ内前項ノ資格ヲ有セサルモノハ不合格ノ部ニ記載スルモノトス車輛書 馬車ハ二輛又ハ四輛ノ人乘馬車ニシテ器具稍完備シ數日間ノ運轉ニ堪ユルモノヲ記入ス但シ三頭曳以上ノ車輛ハ二頭曳ノ欄ニ合記スルモノトス

荷馬車西洋荷馬車及大八車製ノ如キモノニシテ器具稍完備シ馬ニ駕シ得ルモノヲ合記スヘシ

右車輛ハ國稅ヲ徵收(下半年國稅ヲ納メタル數)シタル數ヲ記載スル者トス

馬車並駄馬屬具書 馬車曳具ハ其材料完備シ數日間ノ使用ニ堪ユルモノヲ記載ス者ルトス

駄馬屬具共ハ右ニ準シ記載スル者トス

第三號ノ三

郡市役所書 本表記載方ハ前第三號ノ一第一項第二項ノ例ニ依リ調製スルモノトス玄米書以下各書ハ左ノ項ニ依リ取調フ

物産ハ其年中ニ收穫セシ惣數ヲ記シ陸米糯米トモ記載スルモノトス

味噌醬油ハ其年中國稅徵收ノ檢査ヲ爲シタル高ヲ記載スル者トス

漬物梅干ハ賣品トス但シ漬物ハ澤庵漬ヲ記スルモノトス一樽ハ四斗入ヲ以テ計算ス

ルモノトス
物品ノ計算ハ四捨五入ノ法ヲ用ヒ石、貫、樽、ニ止ムルモノトス

●第九編

社 寺

○訓令第百十二號

明治廿四年
十二月十八日

郡市役所
町村役場

明治十八年丁第十四號逓社寺總代人選舉人名届出ノ件ハ連署式無之處該届書モ社寺ノ届ニ屬スルヲ以テ神官住職及現任總代人連署セシムヘシ
但本文ニ抵觸セル指令ハ取消ス
○訓令第百十三號 明治廿四年
十二月十八日

郡市役所
町村役場

社寺總代人之儀ハ神官住職ト常ニ心ヲ協セ該社寺ノ永續保護ニ盡力スヘキハ勿論ナレトモ社寺ノ實務ハ神官住職ノ職任ナルニ依リ總代人ハ神官住職ニ干涉シ其實務ヲ妨ケ社寺收入財産ヲ妄リニ他ニ使用スル等ノ所爲ナカラシムヘシ
○訓令第三十六號 明治廿五年
四月二日

郡市役所

縣社以下神官選舉出願ノ節自今被選舉人ニ於テ左ニ掲クルモノニシテ性行其他適當ト認ムル者ハ皇典講究所學階試驗ニ拘ハラス許可スヘシ

祠 官

社 寺

1011

- 一 維新前五代以上其神社へ奉仕セシ者及ヒ其子孫
- 一 明治十五年八月以前ヨリ奉職勤績ノ者
但現職祠掌ヨリ祠官ニ選舉スルハ此限ニアラス
- 一 有位者又ハ判任官以上滿二年奉職セシ者
- 一 該神社所在ノ府縣ニ於テ一ケ年直接國稅拾圓以上ヲ納ムル者

祠 掌

- 一 維新前五代以上其神社へ奉職セシ者及ヒ其子孫
- 一 明治十五年八月以前ヨリ奉職勤績ノ者
- 一 該神社所在ノ地ノ町村長三年以上奉職セシ者
- 達三第二十九號 明治廿五年 四月二日

郡 市 役 所

縣社以下神官ニシテ令般訓令第三十六號各項ニ掲クル資格ヲ有スルモノハ試驗ヲ受クルニ及ハサル旨達方取計フヘシ

○ 達三第三十七號 明治廿五年 五月十三日

陸地測量ノ際官有社寺境内へ掛ル場合實地其時ニ臨ミ出張測量官ヨリ管理者(神社地ニ在テハ住職)ト協議ノ上地方廳へ照會シ保存及風致上ニ支障ナキ限リハ測量諸標ヲ設置ノ義陸軍省ト協議相成候旨内務大臣ヨリ訓令有之候條縣社以下祠官祠掌及寺院住職へ心得ノ爲メ相達スヘシ

第十編 會計

第二章 縣 稅

○ 縣令第七號 明治廿五年 二月八日

縣稅徵收法施行細則縣會ノ決議ヲ經左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ施行ス

縣稅徵收法施行細則

- 第一條 徵收法第五條町村ニ對シ發スル徵稅令書ハ第一號様式ニ依リ調製スヘシ
- 第二條 市町村長ニ於テ地租割其他物件ヲ目的トセル賦課ノ徵稅令書又ハ傳令書發付後納期限以前ニ於テ土地又ハ物件ノ所有權移轉又ハ土地ノ質入ニ係ルモノアルトキハ彙キテ徵稅令書若クハ徵稅傳令書ヲ更正スヘシ
- 第三條 徵稅令書若クハ徵稅傳令書ハ年稅ハ納期ノ十五日前月稅ハ同五日前ニ之ヲ各納稅人ニ發スヘシ
但隨時收入ニ係ルモノハ此限ニアラス
- 第四條 市町村長ニ於テ稅金ヲ縣出納吏ニ納付スルトキハ適宜ノ納付書ヲ添付スヘシ
- 第五條 町村長ハ納期限ヲ過キ稅金ヲ完納セサル者アルトキハ其滯納ノ稅目金額及滯納人ノ住所氏名ヲ記載スヘシ郡長ニ報告スヘシ
- 第六條 市町村長ハ諸收入臺帳及營業者 臺帳其他事務整理上必要ノ帳簿ハ便宜ノ式ニ據リ之ヲ調製スヘシ

第一號様式 (用紙適宜)

徵稅令書

收入簿

第何號 何年度 第何期何 (割) 何郡何(町)村長氏名納

一金何程

右何年何月何日限本衙へ納付スヘシ

明治何年何月何日

何郡長 氏名

印

○告示第十號 明治二十五年 二月十二日

縣稅納稅取調委員ノ義明治二十四年度限非廢止ス

○訓令第十三號 明治廿五年 二月十七日

郡市役所

縣稅滯納處分報告表及決行表二十四年度以降本年二月四日大藏省訓令第五號及左ノ様式

ニ倣ヒ翌年度四月三十日限リ調製差出スヘシ 但明治十七年九月丙第二百七十二號達ハ廢止ス

(用紙美濃)

明治何年度縣稅滯納處分決行表

件名	地租		營業稅			雜種稅		計
	第一期	第二期	前	同	後	前	後	
稅目								
稅金								
處分費								
督促令狀後								
發賣差額								
財產差額								
命令交付以前								
納金以前完								
納金以前完								
賣却								
買上								
損失								
過剩								
住								
所								
姓名								

合計

右處分候條及報告候也

年號月日

何市郡長

知事宛

○訓令第十四號 明治廿五年 二月十七日

郡市役所

縣稅收入豫算及決算表二十五年以降左ノ様式ニ倣ヒ豫算表ハ該年度前納期前決算表ハ翌年度四月三十日限り調製差出スヘシ
但稅額未額定ニシテ本文日限内ニ決算ヲ了スル能ハサルモノハ追決算トナシ調製差出スヘシ

明治何年度縣稅中地租割豫算表

一金何程

但何年何月何日現在此地租額金何程

右之通り相違無之候也

年號月日

何市郡長印

知事宛

明治何年度縣稅中地租割決算表

件名	賦課額	租額	稅額	金	豫算ニ比較金員
第何期郡市收入	何程	何程	何程	何程	増減
第何期郡收入	何程	何程	何程	何程	増減
合計			何程	何程	

一豫算額ニ對シ稅金何圓増(減)セシハ何々ノ爲メ金何圓ヲ増(減)何人何々ノ爲メ免除又ハ滯納處分法第何條何項ニヨリ金何圓ノ實收不足アルニヨリ此増(減)ヲ生セリ
右之通り相違無之候也

年號月日

何市郡長印

知事宛

(○印朱書)

○一乘算金ヨリ徵收金増加スルトキハ「内金何程乘算過」徵收金不足ナルトキハ「外金何程乘算不足」ト稅金ノ左傍ニ朱記ヲ要ス

一滯納處分ノ未分收ノトキハ内金何程分收ト稅金ノ左傍ニ朱記ヲ要ス
戶數割營業稅
雜種稅亦同シ

業 雜 綱 何 把 何 把

右之通り相違無之候也

年號月日

知 事 宛

○訓令第十五號 明治二十五年 二月十七日

○訓令第二十四號 明治二十五年 三月十六日
訓令第四十二號 縣稅ニ係ル市町村交付金請求手續第一條ニ左ノ
但書ヲ追加ス
但一月以降ノ收入ニ係ルモノハ其年四月ニ請求スヘシ

何 市 郡 長 印

郡 市 役 所

町 村 役 場

○訓令第二十號 明治二十五年 三月十二日

國稅滯納處分法第一條ニ依リ縣稅滯納者處分ノ義他府縣郡市長ヨリ囑托ヲ受ケ其結果
回報ノトキ本年(二月)第三號訓令中大藏省訓令第五號國稅滯納處分報告表ニ該當ノ
事項ハ悉皆取調同時ニ添報候様取計フヘシ

郡 市 役 所

町 村 役 場

○訓令第四號 明治二十五年 四月廿一日
他府縣郡市役所若クハ町村役場ヨリ府縣稅市町村稅徵收ノ囑托ヲ受ケタルトキハ便宜ノ
爲其徵收シタル稅金ヨリ稅金送付ニ要スル爲換手數料ヲ控除シ其領收證ヲ添ヘテ送付方
取計フヘシ但本縣ヨリ他府縣ニ囑托シタルトキモ本文同様手數料控除ノ上送付ノ筈ニ付
此旨心得置クヘシ

郡 市 役 場

○訓令七十五號 明治廿五年 七月十一日
縣稅(隨時徵收ニ係ルモノヲ除ク)滯納處分事務ハ自今町村長ニ於テ取扱フヘシ
但明治二十三年五月訓令第三十八號中本文ニ抵觸スルモノハ取消ス

第十一編

第一章

警察區畫

○告示第九十三號 明治二十四年 十月七日

本年三月告示第十二號警察署分署巡查受持區畫中西田川郡警察署大山分署部内第三受持
區西鄉村大字ノ下面野山トアルハ下川ト更正ス

○告示第一百二號 明治二十四年 十一月十八日

本年三月告示第十二號警察署分署巡查受持區畫中北村山郡警察署巡查駐在所第三組合區
第十受持區大倉村大字ノ下林崎トアルハ櫛山ト更正ス

○告示第三號 明治二十五年 一月二十日

明治二十四年三月告示第十一號警察署警察分署受持區畫中飽海郡警察署巡查駐在所第二
組合區第五受持區上田村大字ノ下上野會根トアルヲ安田ト更正ス

○縣令第九號 明治二十五年 二月二十四日

北村山郡警察署所轄東根村へ東根警察分署ヲ設置シ明治二十四年(二月)縣令第七號警察
區畫中左ノ通更正本年四月一日ヨリ施行ス

北村山郡警察署

位置羽前國北村山郡楯岡村大字楯岡

管轄羽前國北村山郡一圓

直轄 羽前國北村山郡ノ内
 楯岡村 西郷村 大倉村 袖崎村ノ内土生田、本飯田 長瀨村 大久保村 富本村
 戸澤村 大高根村ノ内白鳥
 北村山郡 東根分署
 位置羽前國北村山郡東根村大字東根
 所轄羽前國北村山郡ノ内
 東根村 東郷村 大富村 小田島村 山口村 高崎村 田麥野村
 ○告示第三十號 明治二十五年 四月二十七日
 本年四月告示第二十六號北村山郡警察署東根分署巡查受持區畫中左之通更正ス
 一 東根分署所在地受持區畫中第二受持區大字ノ欄神町、板垣新田、中島新田ノ十字ヲ
 刪除ス
 二 同分署巡查駐在所區畫中第四受持區村名ノ欄大富村ノ左方ニ東根村ノ内ノ五字ヲ挿
 入シ大字ノ欄ニ神町、板垣新田、中島新田ノ十字ヲ挿入ス
 ○告示第五十九號 明治二十五年 七月十八日
 明治二十四年三月告示第十二號警察署警察分署受持區畫中南置賜郡警察署巡查駐在所第
 二組合區第四受持區萬世村大字ノ下片子トアルヲ梓山ト更正ス
 ○告示第二十五號 明治二十五年 四月六日
 西田川郡警察署大山分署部内加茂町ニ湯野濱巡查駐在所ヲ設置シ明治二十四年(三月)告

示第十二號警察分署巡查受持區畫中大山分署巡查駐在所區畫第二受持區以下ヲ左ノ通更
 正ス

第一組	第二受持區	第三受持區	第四受持區	第五受持區	第六受持區
加茂町ノ内	加茂町ノ内	加茂町ノ内	西郷村	袖浦村ノ内	袖浦村ノ内
加茂	湯野濱、今泉、油戸、宮澤、金澤	下川、馬町、辻與屋、千安京田、西沼、面野山、茨新出、長崎	京田村ノ内、福田、豊田、榮村ノ内、平田	黒森、濱中、廣岡新田	宮野浦、十里塚、坂野邊新田
加茂町ノ内	湯野濱巡查駐在所	湯野濱巡查駐在所	西郷村	袖浦村ノ内	袖浦村ノ内
加茂町ノ内	加茂町ノ内	加茂町ノ内	西郷村	袖浦村ノ内	袖浦村ノ内
加茂町ノ内	加茂町ノ内	加茂町ノ内	西郷村	袖浦村ノ内	袖浦村ノ内

○告示第二十六號 明治二十五年 四月六日
 明治二、四年(三月)告示第十二號警察分署巡查受持區畫中北村山郡警察署巡查駐在所區
 畫ヲ甲號ノ適更正シ其次ニ乙號欄ヲ挿入ス
 (甲號)

北村山郡警察署巡查駐在所區畫

組合區號	受持區號數	町村	受持區域
		大	字

第一組 區合		第二組 區合		第三組 區合		第四組 區合		第五組 區合		第六組 區合	
第一受持區	大倉村 大 楠山 巡查駐在所	第二受持區	袖崎村 大 土生田 巡查駐在所	第三受持區	西郷村 大 名取 巡查駐在所	第四受持區	長瀨村 大 長瀨 巡查駐在所	第五受持區	戸澤村 大 長善寺 巡查駐在所	第六受持區	富本村 大 湯野澤 巡查駐在所
大倉村 楠岡町ノ内	林崎、楠山 湯澤	袖崎村ノ内	土生田、本飯田	西郷村	名取、大泥、長島、河島	長瀨村	長瀨、松澤、傳長新田	戸澤村	大嶺、樽石、長善寺、稻下	富本村	湯野澤、岩野
大久保村	大久保	大久保村	大久保	大久保村	大久保	大久保村	大久保	大久保村	大久保	大久保村	大久保

(乙號)

北村山郡 警察署 東根分署所在地受持區畫

東根分署	第一受持區	第二受持區	東根村ノ内	東根村ノ内	東根村ノ内	東根村ノ内	東根村ノ内	東根村ノ内	東根村ノ内
第一受持區	東郷村	高崎村	東郷村	高崎村	東郷村	高崎村	東郷村	高崎村	東郷村
第二受持區	野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	小田島村	野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	小田島村	野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	小田島村	野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	小田島村	野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田

北村山郡 警察署 東根分署巡查駐在所區畫

第一受持區	第二受持區	第三受持區	第四受持區	第五受持區	第六受持區
東郷村	高崎村	小田島村	大富村	山口村ノ内	田麥野村
野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	小田島村	野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	大富村	山口村ノ内	田麥野村

第一組 區合	第二組 區合	第三組 區合	第四組 區合	第五組 區合	第六組 區合
第一受持區	東郷村 大 野川 巡查駐在所	第二受持區	高崎村 大 關山 巡查駐在所	第三受持區	小田島村 大 蟹澤 巡查駐在所
東郷村	高崎村	小田島村	大富村	山口村ノ内	田麥野村
野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	小田島村	野川、猪ノ澤、沼澤、太田新田、白水、万善寺、幾右衛門新田、關山、觀音寺、名和新田、大江新田	大富村	山口村ノ内	田麥野村
大富村	山口村ノ内	田麥野村	山口村ノ内	田麥野村	山口
大富村	山口村ノ内	田麥野村	山口村ノ内	田麥野村	山口

第二章 警務

○訓令第十七號 明治廿五年 二月廿九日

明治二十三年一月訓令乙第二號巡查請願規程左ノ通改正ス

但從前請願者ニモ亦之ヲ適用ス

郡市役所 警察署 町村役場

巡查請願規程

- 第一條 請願巡查ハ請願ノ場所ニ配置シ勤務上ハ總テ所轄警察署又ハ警察分署ノ指揮ニ從フヘシ
- 第二條 銀行又ハ諸會社若シハ市町村及一個人ノ費用ヲ以テ場所ヲ定メ巡查ノ配置又ハ増員ヲ請願セントスル者ハ別紙書式ニ依リ郡市役所ヲ經由シ所轄警察署ニ差出スヘシ
- 所轄警察署ニ於テハ駐在所ニ充ツヘキ建物ノ適否ヲ調査シ之ヲ添申スヘシ
- 第三條 請願ノ期ハ配置ノ初日ヨリ起算シ三十日以前ニ差出スヘシ
- 第四條 左ニ掲クルモノ、一ニ該當スルトキハ之ヲ許サス
 - 一 警察署ノ所轄ヲ異ニスル町村及ヒ數人共同スルトキ
 - 一 配置期限一ケ年(自前年四月一日至翌年三月三十一日)ニ滿タサルトキ
- 第五條 經費ノ外尙ホ駐在所ニ充ツヘキ建物ノ新設及修繕費又ハ借家料其他常具ノ備品消耗品費ハ總テ請願者ノ負擔タルヘシ
- 第六條 請願ノ許可ヲ受ケタルトキハ經費ハ一ケ年度分(二ケ年以上ニ涉ルトキハ一ケ年度毎ニ)毎年三月二十日迄ニ所轄郡市役所ヘ納ムヘシ
- 所轄郡市役所ニ於テハ前項ノ經費ヲ徵收シタルトキハ直ニ之ヲ縣稅雜收入トシテ送納スヘシ
- 第七條 巡查一名ニ係ル一周年ノ經費ハ該年度縣會議決ノ豫算(貸與品費ハ保存期限ノ額ニ依ル)

第八條 何等ノ理由アルモ期限内廢止ヲ出願スル者ハ殘經費中俸給慰勞金并受持區内巡回日當ハ月割(廢止ノ翌月)ヨリ起算ス(ヨリ起算ス)ヲ以テ還付スト雖トモ其他ハ總テ還付セス

巡查請願書

一 巡查何名 明治何年何月何日ヨリ 何ケ年間
 明治何年何月何日マテ
 右ハ巡查請願規程ヲ遵守シ成規ノ費用ヲ擔當仕候ニ付何處ニ(配置場所ヲ記ス)(増員)御配置相成度此段奉願候也

何郡市町村(總代)(何々銀行頭取)
(何番地居住)

年月日

何 某 印

知事 宛

○縣令第四十六號 明治廿五年六月十六日
 巡查採用規則左ノ通相定ム

巡查採用規則

- 第一條 巡查ハ必ス試驗ノ上採用スルモノトス但巡查精勤證書ヲ有スル者ハ此限ニアラズ
- 第二條 陸軍現役滿期ノ下士ニシテ巡查志願ノ者及專テ犯罪ノ探偵ノミニニ從事セシムル爲メ採用スヘキモノハ技藝試驗ヲ要セス採用スルコトアルヘシ

第三條 前條犯罪探偵ノ爲メ採用シタル巡查ハ定規ノ試験ヲ經ルニ非サレハ他ノ職務ニ服セシメサルモノトス

第四條 巡查志願者ハ品行方正年齢二十三年以上四十年未満ニシテ徴兵ニ相當セズ且ツ左ノ諸項ニ抵觸セサル者トス

- 一 重罪ノ刑又ハ重禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ同上ノ刑ニ處セラルヘキ罪ヲ犯シ單ニ監視ニ附セラレタル者及輕禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經過セサル者但舊法ニ依リ施體ノ刑ニ處セラレタル者ハ總テ本文ノ權衡ニ準ス
- 二 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタル者
- 三 巡查懲罰例又ハ官吏懲戒例ニ依リ免職セラレ若クハ故ナク巡查ヲ辭職シ二年ヲ經過セサル者
- 四 身分不相應ノ負債アル者又ハ家資分散者タルノ宣告ヲ受ケ未タ復權ヲ得サル者又ハ從前身代限ノ處分ヲ受ケ未タ辨償ノ義務ヲ終ヘサル者
- 五 酒癖又ハ粗暴ノ舉動アル者

第五條 巡查體格ノ検査ハ左ノ諸項ニ適合スル者ヲ以テ合格トス

- 一 體質善良ナル者即チ左ニ記載スル等ノ缺所ナキ者
- 二 四肢完具セサル者但執筆把握ニ差支サル指ノ萎小彎屈強直等ノ類ハ此限ニ非ラズ
- 三 胸腺機關及腹内臟器若クハ皮膚病較著ノ疾病アル者但較著ノ疾病ニアラサルモ

全身諸機關ノ機能減衰ノ者亦同シ

服裝又ハ運動ニ不便ナル者

贅生物畸形等容貌醜惡ナル者

二 身幹五尺一寸以上ニシテ胸圍大約身長ノ半ニ等シク呼吸縮長ノ差一寸以上ノ者

三 兩眼共視力三分ノ二以上ニシテ辨色力完全ノ者

四 聽力六尺ノ距離ニ於テ低語ヲ聽識シ得ル者

五 言語應答明瞭ニシテ充分ノ發聲ニ堪ユル者

六 精神完全ナル者即チ精神病及神經病(癲癲狂癡狀及舞踏病癩癩等ノ病)ナキ者

第六條 巡查技藝ノ試験ハ左ノ諸項ニ適合スル者ヲ以テ合格トス

一 刑法、刑事訴訟法、警察法規等ノ大要ニ通スル者

二 本邦歴史及地理ノ大畧ニ通スル者

三 假名交リノ論文及普通往復文ヲ作り得ル者

四 算術加減乗除ヲ爲シ得ル者

五 普通ニ楷書又ハ行書ヲ書キ得ル者

第七條 巡查ノ試験ハ巡查教習所ニ於テ警部二名以上立會ノ上巡查教習所長之ヲ施行ス

第八條 前條試験ニ合格シタル者ハ警部長ノ面前ニ於テ左ノ誓文ヲ自書シ捺印スヘシ

誓文

某

儀

今般山形縣巡查志願仕候ニ付御採用ヲ被ルニ於テハ官吏服務紀律ヲ恪守仕ルヘキハ勿論人民ニ對シテハ丁寧親切ニ職務ヲ執行シ且總テノ法律命令ヲ遵守シ職任上百般ノ責務ハ嚴正忠實ニ踐行仕ル可ク又奉職五箇年ニ滿タヌシテ一身ノ故ヲ以テ自ラ職務御免相願候様ノ所業決シテ無之且ツ自身ハ勿論家族ニ至ル迄品行方正ニ相保テ警察官吏タリ又其ノ家族タル体面ヲ汚損致シ候様ノ所業決シテ仕マシク依テ誓文如件

廳府縣國郡市町村番地身分

年月日

何 某 實印

第九條 巡查志願ノ者ハ願書ニ履歷書ヲ添ヘ警察部又ハ最寄警察署若クハ警察分署ヘ差出スヘシ

第十條 巡查志願者ハ正確ナル身元保證人一名ヲ要ス但保證人ハ本縣在籍者ニ限ルモノトス

第十一條 巡查志願者ニシテ試驗合格セサル者ハ滿六ヶ月ヲ經過スルノ後ニアラサレハ再願スルコトヲ得ス

第十二條 巡查志願書及履歷書ノ書式左ノ如シ
巡查志願書式 (用紙美濃白紙以下同シ)

廳府縣國郡市町村大字番地身分

(某長次三男或ハ養嗣子)

氏 名

生年月日
當何年何ヶ月

現住所

氏 名

右之者御採用相成候上ハ本人奉職中不都合ノ廉有之候節ハ私ニ於テ一切辨理可仕此段保證候也

縣國郡市町村大字番地身分

身元保證人

氏 名 實印

生年月日

山形縣知事宛

履歷書

廳府縣國郡市町村大字番地身分

氏 名

生年月日

一何年何月何日ヨリ何年何月何日迄公私立學校若クハ何塾ニ於テ何學修業
一任何官或ハ何々申付候事

官 廳

但等級ナキモノハ月俸額ヲ記スヘシ

年月日

一何官或ハ何々罷免

官廳

年月日

一何々

一年月日何々ニ付何賞下賜

一年月日何々ニ付何罰ヲ被ル

官廳

右之通相違無之候也

現住所

年月日

履歴ナキモノ、書式

氏名實印

廳府縣國郡市町村大字番地

氏名

生年月日

私儀是迄何等履歴無之候也

現住所

年月日

氏名實印

第三章 取締規則

○縣令第四十一號 明治廿五年五月三十日

烟火又ハ火力ヲ用フル模型輕氣球ヲ揚ケントスル者ハ其日時場所ヲ記シ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出認可ヲ受クヘシ犯ス者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

○縣令第四十二號 明治廿五年五月三十日

料理屋飲食店取締規則左ノ通相定ム

料理屋飲食店取締規則

第一條 料理屋又ハ飲食店營業ヲ爲サントスル者ハ所轄警察署又ハ警察分署ニ願出免許證ヲ受クヘシ

第二條 廢業シタルトキハ三日以内所轄警察署又ハ警察分署ニ届出免許證ヲ返納スヘシ

第三條 免許證面ニ異動ヲ生スルカ又ハ毀損亡失シタルトキハ五日以内所轄警察署又ハ警察分署ニ届出書換若クハ再渡ヲ請フヘシ

第四條 強テ客ヲ誘引シ又ハ客ノ需メナキニ飲食物ヲ出スヘカラス

第五條 飲食代ノ抵償トシテ客ノ衣類其他ノ物件ヲ押收スヘカラス

但承諾ノ上之ヲ受取タルトキハ速ニ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ

第六條 客ニ對シ婦女ヲシテ猥褻ノ所爲アラシムヘカラス

第七條 夜間十二時後歌舞音曲又ハ喧噪ヲ爲サシムヘカラス

取締規則

取締規則

取締規則

取締規則

第八條 宿泊ヲ請フ者アルトキハ之ヲ許スヘカラス若シ己ムナキ事故アリテ止宿セシムルトキハ其旨ヲ所轄警察署又ハ警察分署若クハ巡查ニ届出ヘシ

第九條 客ノ舉動不審ト認ムルトキハ速ニ所轄警察署又ハ警察分署若クハ巡查ニ密告スヘシ

第十條 男女ヲ雇入又ハ解雇シタルトキハ其屬籍住所氏名年齢ヲ記シ三日以内所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ

第十一條 警察官吏ハ臨時其家宅ニ臨ミ検査スルコトアルヘシ

第十二條 第一條、第二條、第三條、第四條、第五條、第六條、第七條、第八條、第十條ニ違背シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附則
第十三條 從來ノ營業者ハ十五日以内第一條ニ依リ願出又雇入ノ男女ハ同日限内第十條ニ依リ届出ヘシ

○縣令第四十三號 明治廿五年五月三十日
摺附木製造場取締規則左ノ通相定ム

摺附木製造場取締規則
第一條 摺附木製造場ヲ建設セントスル者ハ願書ニ製造場ノ仕様書及場所ノ圖面ヲ添ヘ所轄警察署又ハ警察分署ニ願出許可ヲ受クヘシ

但改造ヲ要スルトキ亦同シ

第二條 製造場ノ新設又ハ改造ノ工事竣リ其事業ニ着手セントスルトキハ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出検査ヲ受クヘシ

第三條 製造場ヲ賣買讓與シタルトキハ双方連署ノ上七日以内ニ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ

第四條 製造場ノ構造ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
一 黄燐ヲ用ヒサル製造場ハ製品貯藏室及乾燥室ヲ設ケ各之ヲ區劃スヘシ

二 黄燐ヲ用フル製造場ハ調製室製品貯藏室及原料室ヲ設ケ各之ヲ區劃シ又乾燥室ハ別棟ト爲シ瓦斯ヲシテ他室ニ飛散セシメサル様戶外ニ導クノ裝置ヲ爲スヘシ

三 前二項ノ諸室内部ハ凡テ不燃質ヲ以テ之ヲ覆フヘシ

第五條 黄燐ヲ用フル製造場ニ在テハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
一 工場内ハ常ニ窓戸ヲ開放シ空氣ノ流通ヲ良クスヘシ

二 齒牙及齒齦ニ疾患アル者ヲシテ黄燐若クハ其合劑ノ取扱ヲ爲サシムヘカラス

三 何人ヲ問ハス工場内ニ於テ飲食ヲ爲サシムヘカラス
四 合劑中ニハ合劑ノ量百分ニ付黄燐十分以上ヲ含マシムヘカラス

第六條 免許證面ニ異動ヲ生スルカ若クハ毀損亡失ヲタルトキハ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出再渡又ハ書換ヲ受クヘシ

第七條 廢業シタルトキハ七日以内ニ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ

取締規則

第八條 製造場ハ警察官吏ヲシテ検査セシムヘシ
第九條 第一條第二條第三條第五條第六條第七條ニ違背シタルモノハ違警罪ヲ以テ處分セラルヘシ

附則

第十條 從來設置シアル製造場ハ本則ニ依リ届出ヘシ但構造本則ニ適セサルモノハ改造ヲ命スルコトアルヘシ

○縣令第五十二號 明治二十五年七月十二日
牛乳販賣取締規則左ノ通改正ス

牛乳販賣取締規則

- 第一條 搾取所ヲ設ケ乳牛ヲ飼養シ牛乳ヲ搾取販賣セントスル者ハ左ノ事項ヲ詳記シ所轄警察署又ハ警察分署ニ願出免許證ヲ受クヘシ
 - 一 乳牛ノ種牛、犢牛ノ種別、產地、年齢、毛色、特徴及牝牡ノ區別
 - 二 搾取所及其近傍ノ模様ヲ記シタル圖面並ニ構造ノ仕様書
 - 三 獸醫ノ乳牛診斷書
 - 四 搾取所ノ落成期日
- 第二條 搾取所ハ衛生上障害ナキ地ニアラサレハ之ヲ許サス
- 第三條 搾取所ノ構造ハ左ノ制限ニ從フヘシ
 - 一 搾取所ノ周圍ハ適宜圍ヲ爲シ乳牛運動場ノ周圍ハ柵ヲ設ケ且便宜排水ノ構造ヲ爲

山形

- 二 牛舎ハ空氣ノ流通ヲ能クスル爲メ窓牖其他空氣抜ヲ設クヘシ
- 三 牛室ハ一頭毎ニ間口五尺以上奥行八尺以上區域ヲ設ケ前面三尺以上後面二尺以上ノ空地ヲ存スヘシ但牛室ノ境界ハ高サ三尺以上厚板ヲ以テ構造スヘシ
- 四 牛室ノ床ハ一寸以上ノ厚板ヲ以テ敷設シ汚汁ノ滲透ヲ防キ且適宜ノ勾配ヲ付スヘシ
- 五 尿糞ハ不滲透質ノ材料ヲ用ヒ又ハ木樋ヲ以テ舍外ニ排泄スル様構造スヘシ
- 六 糞尿及不潔物溜ハ不滲透質ノ材料又ハ桶若クハ箱ヲ用ヒ之ヲ舍外ニ設ケ又適宜ノ蓋ヲ爲シ其他雨水ノ注入ヲ防ク様構造スヘシ
- 第四條 搾取所ヲ改修、増設、移轉セントスルハ第一條ノ例ニ依リ(第一項第三項ヲ除ク)願出ヘシ
- 第五條 搾取所ノ新設、改修、移轉ニ付其工事竣リタルトキハ使用前所轄警察署又ハ警察分署ニ届出検査ヲ受クヘシ
- 第六條 搾取所ヲ賣買讓與シタルトキハ双方連署ノ上三日以内所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ
- 第七條 搾取所ニハ左ノ錐形ノ標札ヲ掲出スヘシ

○牛乳搾取所

住 氏 所 名

豎三尺
横八寸

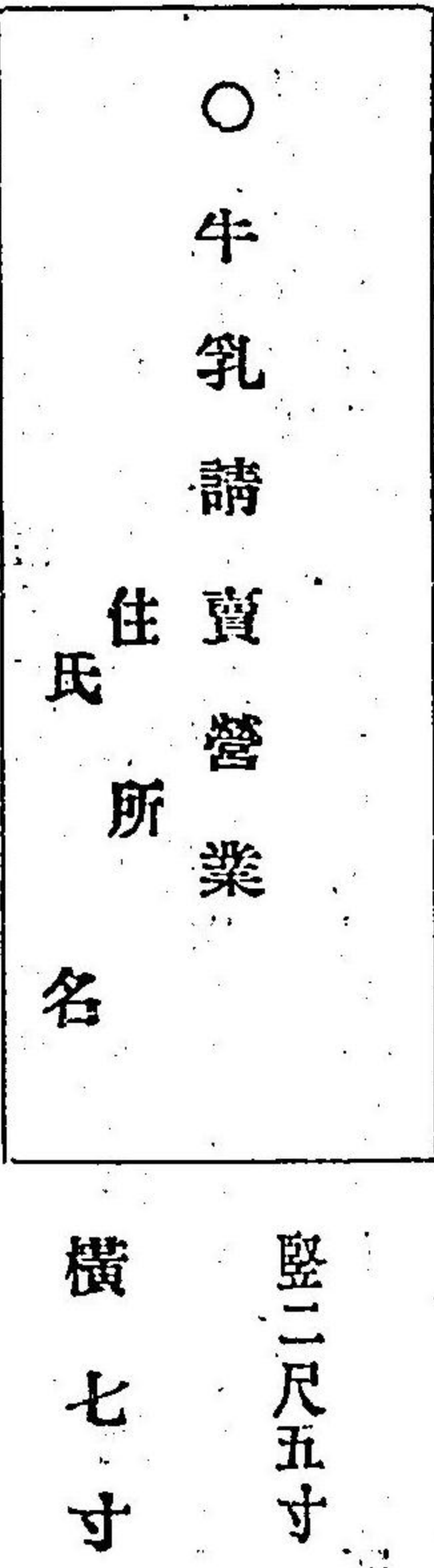
取締規則

第八條 免許證面ニ異動ヲ生シ又ハ之ヲ毀損亡失シタルトキハ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出書換若クハ再渡ヲ請フヘシ

第九條 牛乳請賣營業ヲ爲サントスル者ハ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ其支店ヲ設クルトキ亦同シ

牛乳搾取營業者ニシテ搾取所外ニ販賣所ヲ設クルトキハ前項ノ例ニ依リ届出ヘシ

第十條 牛乳請賣營業者ハ左ノ雛形ノ標札ヲ店頭ニ掲出スヘシ



第十一條 牛乳請賣營業者ニシテ轉居改氏名又ハ該業者及搾取營業者廢業シタルトキハ三日以内所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ

第十二條 搾取所ハ乳牛並ニ乳牛ニ充ツヘキ種牛犢牛ノ外飼養スヘカラス

第十三條 搾取所ハ清潔ニ掃除シ又不潔物及糞尿溜等ハ充溢セサル機時々掃除スヘシ

第十四條 搾取所ニハ乳牛、種牛、犢牛ノ種別、産地、年齢、毛色、特徴、牝牡ノ區別等ヲ記載シタル牛籍簿ヲ備ヘ置クヘシ

第十五條 牛籍簿ニ増減アリタルトキハ之ヲ加除シ三日以内所轄警察署又ハ警察分署ニ

届出ヘシ但乳牛増加ノ届書ニハ獸醫ノ診斷書ヲ添フヘシ

第十六條 乳牛病ニ罹リタルトキハ速ニ獸醫ヲシテ診察セシメ若シ乳汁有害ト診斷シタルトキハ搾取ヲ止メ其診斷書ヲ添ヘ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ

全癒ノ後更ニ搾取セントスルトキハ前項ノ例ニ依リ届出ヘシ

第十七條 乳牛ニハ善良ノ飼料ヲ與ヘ適當ノ運動ヲ爲サシムヘシ

第十八條 乳牛ハ日々清潔ニ梳拭シ不潔ノ蓆藁等ハ使用スヘカラス

第十九條 牛乳ヲ搾取スルトキハ乳房及搾取者ノ手腕衣服並ニ牛乳ノ容器等ヲ清潔ニシ牛乳ニ汚物ヲ混入セシムヘカラス

第二十條 傳染病者及其虞アル皮膚病者ヲシテ牛乳ヲ搾取セシムヘカラス

第二十一條 牛乳ノ容器ハ亞鉛、銅、黃銅、其他有害ノ物質ヲ用フヘカラス牛乳ノ容器ハ使用ノ都度熱湯ヲ以テ洗滌スヘシ

第二十二條 牛乳置場ハ清潔ニ掃除シ牛乳ノ腐敗ヲ促スヘキ汚物ヲ置クヘカラス

第二十三條 牛乳ハ純良ノモノニアラサレハ販賣スヘカラス

第二十四條 乳牛分娩シタルトキハ一週間ヲ經過スルニアラサレハ其牛乳ヲ販賣スヘカラス

第二十五條 牛乳配達人ニハ所轄警察署又ハ警察分署ノ烙印ヲ受ケタル標札ヲ容器ニ付シ携帯セシムヘシ

表 ○牛乳配達ノ證烙印

裏 ○牛乳搾取販賣氏名

住所
堅三寸五分
横二寸五分

第二十六條

牛乳搾取業者ハ日々ノ搾取及販賣高並其賣先ヲ帳簿ニ記載シ置キ搾取及販賣高ノ總計ハ前月分ヲ翌月十日マテ所轄警察署又ハ警察分署ニ届出ヘシ

牛乳請賣業者モ亦前項ノ例ニ依ル

第二十七條

警察官吏ハ臨時搾取所乳牛ノ體格及牛乳ヲ検査スルコトアルヘシ但試験用ノ爲メ牛乳ヲ差出サシム

乳牛病ニ罹リタルトキハ他ニ移轉ヲ命シ又牛乳不良ト認メタルトキハ販賣ヲ禁シ又ハ投棄ヲ命スルコトアルヘシ

第二十八條

牛酪、乾酪、粉乳、濃乳、ノ類ヲ製造販賣スル者ハ此規則ヲ適用ス

第二十九條

羊又ハ山羊ノ乳汁ヲ搾取販賣シ若シハ請賣セントスル者ハ第三條第三項ヲ除クノ外此規則ヲ適用ス

第三十條

第一條、第四條、第五條、第六條、第七條、第八條、第九條、第十條、第十一條、第十二條、第十三條、第十四條、第十五條、第十六條、第十七條、第十八條、第十九條、第二十條、第二十一條、第二十二條、第二十三條、第二十四條、第二十五條、第二十六條、ニ違背シタル者ハ違背罪ヲ以テ處分セラレヘシ

附則

第三十一條

從來免許ヲ得タル搾取所ニシテ本則ノ構造ニ適セサルモノハ來ル十二月マテ改造スヘシ但己ムヲ得サル事情アルモノハ相當ノ猶豫ヲ與フルコトアルヘシ

第十二編 租 稅
第三章 地 租

○訓令第八號 明治二十五年
二月十二日

市 役 所
町 村 役 場

各市町村一周年ノ地租額並免租地反別額ノ整理ヲ確實ナラシメムカ爲メ自今左ノ甲乙兩
様式ニ準シ其増減額及確定額表ヲ調製シ翌年二月十五日限り直稅分署ニ差出スヘシ
但明治二十四年分ニ限り本年二月二十九日迄ニ之ヲ差出スヘシ
(甲號) 用紙半紙 (肩ニ圈點ヲ施シタルハ朱書ナリ)

明治何年地租増減額及確定額表

何市何町大字何々

摘 要	段 別	地 價	地 租	何(地)目(部)之部	
				翌年ニ涉ル 月割地租	筆 數
前年確定額					
前年月割租額					
拂 下					

下										
免租地使用廢止										
開墾地賦租										
荒地起返										
低價起返										
低價年期明										
開墾年期明										
田ヨリ變換										
畑ヨリ變換										
何々ヨリ變換										
田ヨリ組換										
畑ヨリ組換										
何々ヨリ組換										

地盤丈量					
所屬組換					
誤謬訂正					
減額計					
本年度確定額					

何(地)目(之)部
以下前二同シ

右之通候也

年月日

直稅署何々分署御中

何市役所(何町村役場)印

凡例

- 一本表ノ地目ハ地租條例ノ定ムル處ニ據ル
- 一本表ハ各大字限地目毎ニ記載シ末尾ニ至リ之ニ倣ヒ市町村計ヲ顯ハスヘシ
但各地目ヲ合算シタル計ヲ要セス
- 一本表ニハ荒地ヲ編入セス
- 一翌年ニ涉ル月割地租ハ拂下、下渡或ハ官有地成、免租地成等月割ヲ以テ地租ヲ賦除ス

一キモノハ翌年分ヲ記載スヘシ

- 一翌年ニ涉ル月割地租ハ増及減ノ計ニ記載シ本年確定額ノ部ニハ記載スルニ及ハス
- 一免租地使用廢止ノ欄ニハ廢校迹地賦租或ハ墳墓地等ヲ有租地ニ組換ヘタルモノヲ編入スヘシ

- 一開墾地賦租ノ欄ニハ無租開墾地ノ歟下年期願止若クハ成功ノ爲メ新タニ租賦セシモノ及無租地開墾ニシテ繼年期ノ際賦租セシモノヲ編入ス
- 一所屬組換ノ欄ニハ市町村ノ境界變更ノ爲メ所屬ヲ組換ヘタルモノヲ編入ス
- 一一周年中増減アラサルトキハ前年確定額ノ次欄ニ「増減ナシ」ト記載スヘシ
- 一本表ノ頁數ハ數字ヲ以テ記載スヘシ

(乙號) 用紙半紙

明治何年免租地増減及確定額表

何市町村大字何々

地目	前年反別	増	減	本年反別
學校敷地				
鄉村社地				
墳墓地				
用惡水路				

溜池	堤塘	井溝	鐵道用地	禁伐林	道路	計	外	無租開墾地	新開地	畦畔

右之通候也
年月日
何市役所(何町村役場)印

直稅署何々分署御中

凡例

一本表ハ各大字限記載シ末尾ニ至リ市町村計ヲ顯ハスヘシ
 一本表ノ員數ハ數字ヲ以テ記載スヘシ
 ○縣令第二十一號 明治二十五年三月十八日
 明治二十三年(二月)縣令第八號別冊地租ニ關スル願屆書式中左ノ通更正追加ス
 一第十六號書式左ノ如ク改ム
 (〇ハ朱書)

明治何年何月
荒地免租年期明屆

何國郡市町村

大字何々

何番

何字何々

但川成 明治十三年ヨリ 又ハ繼

等 荒田反別五畝步
 ○外反別何程
 ○此地價金何程 (元地價ニ反金ヲ記載スルモノハ) 反金何程
 ○此地租金何程 (此地價ニ復シタルモノニ限ル)
 一田反別五畝拾步
 內反別拾步
 地主 氏 名
 丈量増

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

外

田反別五畝步

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

合反別壹反拾步

外反別何程

此地價金何程

此地租金何程

何番

荒畑反別五畝步

此地價金何程

一何山林(柴山)反別五畝步

此地價金何程

○(合反別ニ反金ヲ乘シ地價地租ヲ定メ之ヨリ生地ノ地價地租ヲ控除シタルモノヲ起返ノ地價地租トス)

從來生地

畦畔

畦畔

○但押堀明治十六年ヨリ七ケ年期同二十二年マテ

地主氏名

但町金何程
何番字何々山林ニ比較

此地租金何程

何番

荒原野(拔生地)反別五反壹畝步

此地價金何程

此地租金何程

一原野(拔生地)反別五反貳拾步

外反別拾步

此地價金何程

此地租金何程

何番

荒田(未定田)反別八畝拾步

此地價金何程

此地租金何程

内

○反別四畝五步

此地價金何程

租金何程

○但川缺明治十三年ヨリ十ケ年期同二十二年マテ

地主氏名

丈量減

○但川缺明治十六年ヨリ七ケ年期同二十二年マテ

反金何程

地租

一五四

一田(未定田)反別四畝五步

地主 氏 名

此地價金何程

此地租金何程

外

○反別四畝五步

○繼年期出願ノ分

何番

○荒畑反別壹畝步

○地租改正以前ノ分

○但押堀明治十八年ヨリ五ヶ年繼年期ノ分

一何等田反別壹畝貳步

地主 氏 名

内反別四畝步

丈量増

外反別貳步

畦畔成減

此地價金何程

但反金何程

此地租金何程

何番字何々田ニ比較

何番

○荒畑反別三畝貳拾步

○但川缺明治十六年ヨリ七ヶ年期

此地價金何程

○同 以後ノ分

此地租金何程

一畑反別四畝步

地主 氏 名

内反別拾步

丈量増

此地價金何程

此地租金何程

計

○荒地反別六反九畝貳拾五步

○反別壹畝步

○地租改正以前ノ分

○反別六反八畝貳拾五步

○同 以後ノ分

此地價金何程

此地租金何程

一反別七反七步

六筆

内反別貳拾四步

丈量増

外反別拾步

丈量減

反別貳步

畦畔成減

此地價金何程

此地租金何程

此譯

○荒田反別九畝五步

此地價金何程

地租

一五五

。此地租金何程

田反別壹反拾七步

內 反別貳拾八步

反別拾四步

此地價金何程

此地租金何程

內譯

。反別九畝五步

。此地價金何程

。此地租金何程

反別九畝拾五步

內反別拾步

此地價金何程

此地租金何程

內

。反別五畝步

。此地價金何程

。此地租金何程

三筆

畑田成増

丈量増

貳筆 原地價起返

丈量増

。明治十三年ヨリ
同二十二年マテ 十ヶ年期

反別五畝拾步

內反別拾步

此地價金何程

此地租金何程

。反別四畝五步

。此地價金何程

。此地租金何程

反別四畝五步

此地價金何程

此地租金何程

反別壹畝貳步

內 反別貳拾八步

反別四步

此地價金何程

此地租金何程

。荒畑反別九畝貳拾步

內。反別壹畝步

壹筆

丈量増

。明治十六年ヨリ
同二十二年マテ 七ヶ年期

壹筆

。明治十六年ヨリ
同二十二年マテ 七ヶ年期
壹筆 變換起返

畑田成増

丈量増

。地租改正以前ノ分

○同 以後ノ分

○此地價金何程

○此地租金何程

畑反別四畝步

壹筆

內反別拾步

丈量増

反別貳拾八步

畑田成減

外反別五畝步

畑山林成減

反別貳步

畦畔成減

此地價金何程

此地租金何程

內譯

○反別八畝貳拾步

○明治十六年ヨリ 七ヶ年期

○此地價金何程

同二十二年マテ

○此地租金何程

反別四畝步

壹筆 原地價起返

內反別拾步

丈量増

外反別五畝步

畑山林成減

此地價金何程

此地租金何程

○此地租金何程

○明治十八年ヨリ 五ヶ年期

反別貳拾八步

畑田成減

外反別貳步

畦畔成減

山林反別五畝步

○明治十六年ヨリ 七ヶ年期

此地價金何程

壹筆

此地租金何程

同二十二年マテ 變換起返畑山林成増

○荒原野反別五反壹畝步

○明治十三年ヨリ 十ヶ年期

○此地價金何程

同二十二年マテ

○此地租金何程

原野反別五反貳拾步

壹筆 原地價起返

外反別拾步

丈量減

此地價金何程

此地租金何程

右ハ本年荒地免租年期明ニ付地價査定相成度野取圖相添此段御届申上候也

年月日

右地主

氏名印

氏名印 氏名印

知事宛 備考

- 一 地租改正以前ノ分ニシテ同地目ニ起返リタルモノハ原地價起返ニ合算ス
- 一 第二十二號書式ヘ左ノ備考ヲ追加ス但從來ノ備考冒頭ニ一ノ字ヲ加フ
- 二 官有地一筆ノ内幾部分ノ拂下又ハ拂下ノ際丈量増減ヲ生シタルモノハ其元反別殘反別及増減反別ヲモ記載スヘシ

○訓令第三十八號 明治廿五年 四月六日

郡市役所 町村役場

明治廿二年十一月訓令第五十九號ヲ以テ土地分合筆取扱手續相違置候處右ハ民有地ノ官有地ニ歸スルモノヘモ適用シ分合筆ハ渾テ登記請求以前ニ於テ其手續ヲサシムヘシ

○縣令第五十號 明治廿五年 七月八日

免租地ヲ有租地ト爲シ若クハ有租地ヲ免租地ト爲ス等民有地内相互ノ地種組換ニ係ルモノハ地租賦免ノ處分ヲ爲シタルト同時ニ變換シタル義ト心得ヘシ

第二章 所得稅

○縣令第六十六號 明治廿四年 十月十九日

明治二十年(十二月)縣令第八十六號所得稅調查委員手當及旅費支給方法左ノ通改定ス

所得稅調查委員手當及旅費支給規則

第一條 手當ハ開會中一日金壹圓ヲ支給ス但開會地一里以内ニ居住(本籍寄留ノ者疾病ヲ問ハス)等ノ爲メ欠席シタルトキ及開會地外居住ノモノ歸郷シタルトキハ之ヲ支給セス

第二條 旅費ハ開會地ヘ出張歸郷又ハ納稅者ニ就キ調査ヲ要スルトキハ車馬賃一里毎ニ金拾貳錢滷車賃一哩毎ニ金六錢瀛船賃一海里毎ニ金六錢ヲ支給シ(一位未滿ノ端數ハ支給セス)日當ハ陸路六里以上瀛車十哩以上瀛船十海里以上(數種目ニ跨ル旅行ハ之ヲ通算ス)金七拾錢ヲ支給ス但日當ヲ支給セシ場合ハ手當ヲ支給セス

○縣令第三十四號 明治廿五年 四月廿八日

明治廿年(六月)縣令第五十四號所得稅調查委員選舉及委員會細則中左ノ通改正ス

第八條中山形市ハ縣廳内トアルヲ直稅分署内米澤市ハ收稅事務所内トアルヲ直稅分署内ト改ム

第三章 營業稅

○縣令第十一號 明治廿五年 三月一日

自今賣藥營業者改姓名ハ鑑札書換ヲ管内移轉ハ鑑札訂正方願出ツヘシ但管内移轉ノ者ニシテ鑑札面訂正スヘキ餘白ナキトキハ書換之儀願出ツヘシ

○縣令第十七號 明治廿五年 三月八日

明治十八年(六月)乙第五十七號菓子營業人心得書第二號及第三號書式同十九年(九月)縣

令甲第七號自家用料酒製造者心得書中願書々式同二十一年(八月)縣令第四十四號醬油製造營業人心得書第一號書式各町村戶長ノ與印式ヲ刪除ス

○縣令第三十三號 明治廿五年四月十一日

明治廿四年六月廿七日縣令第五十四號煙草營業手續第十九條左ノ通更正ス

第十九條 質流抵當流又ハ公賣ノ煙草ヲ買受ケタルトキハ賣渡人ノ連署(公賣品ヲ除ク)ヲ以テ其旨現品所在地間稅分署ニ届出ヘシ

○縣令第三十五號 明治廿五年四月廿八日

賣藥營業免許鑑札料ニ登記印紙貼付方ハ願書ニ印紙ヲ貼付セス鑑札下付ノ際左ノ書式ニ倣ヒ印紙ヲ貼付シタル鑑札領收證ヲ差出スヘシ

賣藥營業免許鑑札領收證

印紙 印紙 印紙

一方賣藥營業免許鑑札何枚

一方賣藥營業免許鑑札何枚

一方賣藥營業免許鑑札何枚

合計免許鑑札何枚

新規

書換

再渡

右正ニ領收候也

年月日

山形縣知事宛

第四章 印紙

○縣令第六十九號 明治廿四年十二月八日

明治二十三年(十二月)縣令第五十六號印紙類賣捌手續(左ノ一條ヲ追加ス

第七條 賣捌人ハ第六號樣式ニ據リ毎年二回(自一月)至六月(自七月)至十二月)證券印紙及手形用紙賣捌高表ヲ調製シ各翌月五日限リ所轄間稅分署ヘ差出スヘシ

(第六號樣式)

自何月 至何月 證券印紙及手形用紙賣捌高表

何郡市町村大字番地

賣藥營業人

何

某

印

種	類	賣	捌	代	價
證	券	印	紙		一〇〇
手	形	用	紙		五〇
合	計				一五〇
					八一〇

印紙

一六三

右之通り候也

明治 年 月 日

山形縣間稅署何分署宛

○縣令第三十八號

明治廿五年
五月二十日

何郡市何町村大字何々何番地
印紙賣捌人 何

某

煙草製造人賣藥營業者ハ左ノ書式ニ倣ヒ毎年二回(自一月)至六月(自七月)至十二月)印紙使用高代價表

ヲ調製シ各翌月五日期所轄間稅分署へ差出スヘシ

明治何年 自何月 至何月 煙草(賣藥)印紙使用高代價表

(煙草賣藥)印紙

何圓何拾何錢何厘

使用ニ係ル代價ヲ記入スヘシ

右之通り候也

何郡市町村大字番地

煙草製造人

又ハ賣藥營業者

何

某

印

年 月 日

山形縣間稅分署宛

第六章

雜件

○訓令第六十六號

明治廿五年
六月四日

市役所

町村役場

地租其他國稅ニ關スル帳簿ノ義ハ自今所轄直間稅分署員ヲシテ其整理方監査爲致候儀モ可有之候條此旨心得ヘシ

明治二十五年十月二十九日印刷

(非賣品)

明治二十五年十一月五日出版

山形縣

山形縣山形市大字七日町五百番六地

印刷所 鳴時社

山形縣山形市大字六日町三百十番地

印刷者 片山庸作

4.7 + A-10

